

SONY®

3-858-742-01 (1)



プラズマトロンカラーテレビ

PZ-2500

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

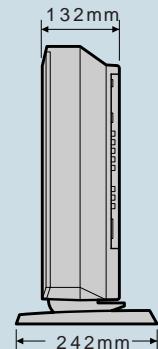
△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

主な特長

新開発のフラットパネル「プラズマトロン」で薄型化を実現。

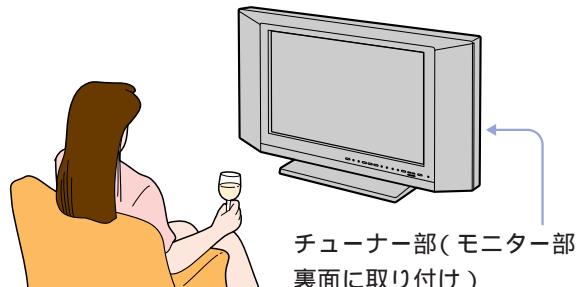
モニター部は厚さわずか132mm、チューナー部を裏面に取り付けても、スタンド部分を含めて242mmと省スペース化を実現したため、より自由に置き場所を選ぶことができます。



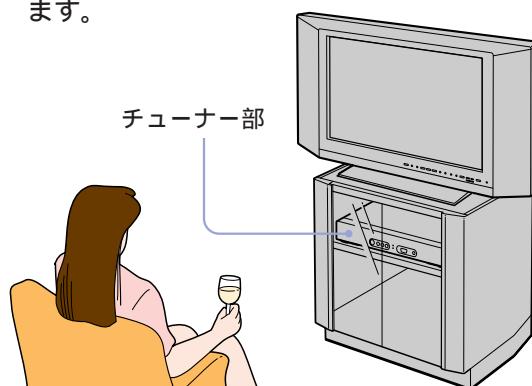
モニター部とチューナー部が別々になった2ピース構造。

ライフスタイルや生活空間に合わせて、下のイラストのように自由に設置できます。

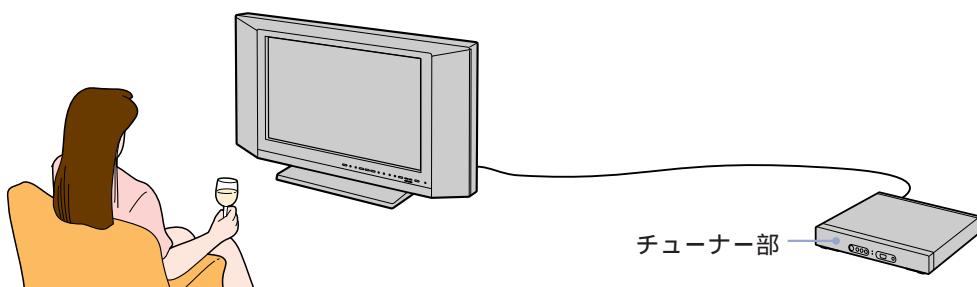
チューナー部とモニター部を一体にして、コンパクトにできます。
デスクトップなどのスペースを有効に使えます。



チューナー部をテレビラックの中に収納して、モニター部の背面をスッキリさせることもできます。



チューナー部をモニター部から離して、別の場所に置くこともできます。



目次

操作編

テレビ、衛星放送を見る	4
ワイド画面を楽しむ(オートワイド)	6
ワイド画面を調整する	11
ゲームやパソコンを楽しむ	12
デコーダーを使って衛星放送を見る	14
ビデオなどを見る	15
画質／音質を調整する	16
衛星放送を録画する	19
音声を切り換える	21
時計を表示する	22
スリープタイマーで電源を切る	24
モニターとして使う	25

準備編

準備早わかり	26
接続する前に	28
モニター部とチューナー部をつなぐ	30
テレビアンテナをつなぐ	32
チャンネルを自動設定する	34
10キー選局にする	37
BSアンテナをつなぐ	40
BS受信の設定をする	41
BSデコーダーをつなぐ	44
接続端子について	47
ビデオデッキをつなぐ	50
ハイビジョンのビデオなどをつなぐ	52
パソコンをつなぐ	53
モニターとして使うときの接続と設定	55

その他

故障かな？と思ったら	57
保証書とアフターサービス	60
お手入れ	61
主な仕様	61
用語集	63
各部のなまえ / Identification of controls	64
索引	67

操作編

準備編

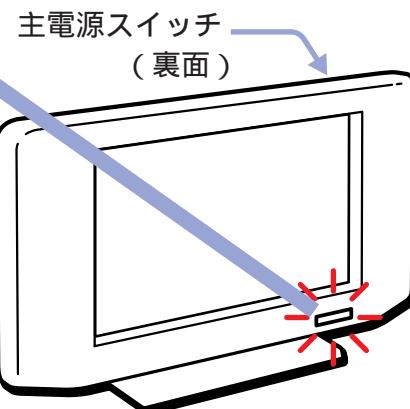
その他

テレビ、衛星放送を見る

1

赤いスタンバイ / スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

ついていないときは、モニター部裏面の主電源スイッチを押します。



2

チャンネルを選ぶ。

ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。

衛星放送(BS)を見るには、数字ボタン⑬～⑯を押します。



チャンネル + / - ボタンを押すと、①～⑯の放送が順に映ります。
衛星放送(BS)は、BSボタンを使って見ることもできます。

例



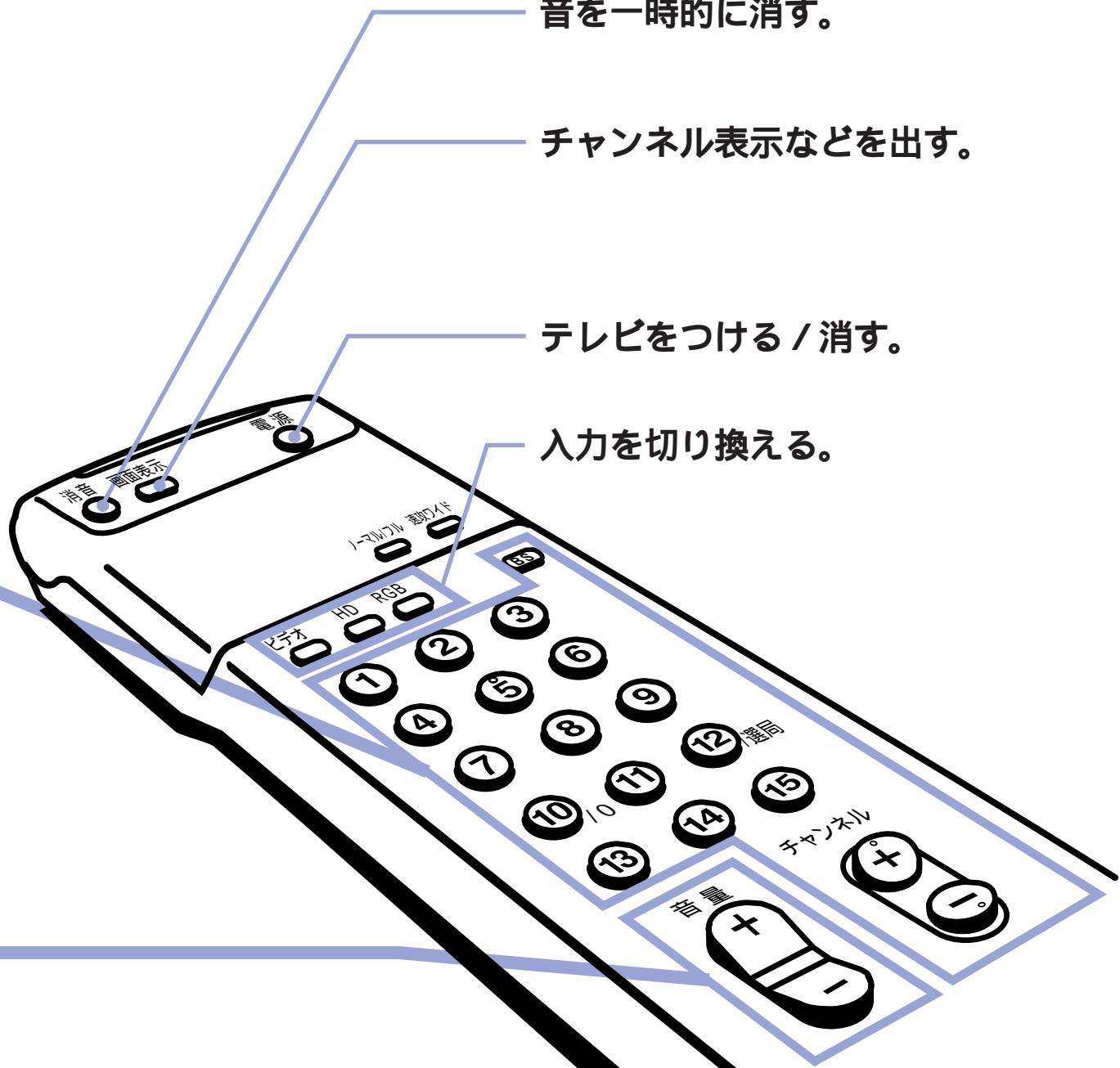
3

音量を調整する。

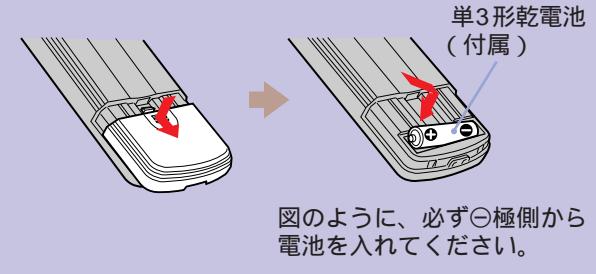
モニター部のスタンバイ / スリープランプがついているときに、リモコンの緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます(チャンネルポン)。

有料の衛星放送(WOWOWなど)を見るときは、「デコーダーを使って衛星放送を見る」をご覧ください。

☞14ページ



リモコンに乾電池を入れるには



ワイド画面を楽しむ(オートワイド)

オートワイドのときは

- ワイドクリアビジョン放送*
識別信号、S-1方式(S映像入力のとき)、ID-1方式(S映像 / 映像入力のとき)の3つの識別信号を自動的に判別してワイド画面にします。
- 放送によっては「4:3映像」をノーマルに切り換えるための識別信号を送っている場合があり、このときは自動的にノーマル画面になります。

ワイド画面に関して

- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見えかたに差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像をワイドズームモードを利用して、このテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたります。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。

オートワイド / 速攻ワイド機能が働くのは
テレビ、衛星放送、ビデオ入力、デコーダー入力のときだけです。

オートワイド機能が正しく動作しないときは
手動でワイド画面に切り換えてください。^{(7)7ページ}

本機が画像の種類を判断して、下のように、ワイド画面に自動的に切り換えて(オートワイド機能) 最適なワイド画面でお楽しみいただけます。

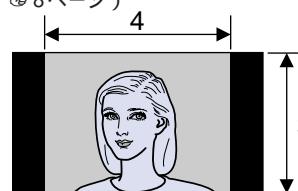
オートワイドが働いていない(切)ときの画像

画面モードの種類

オートワイドが働いているときの画像

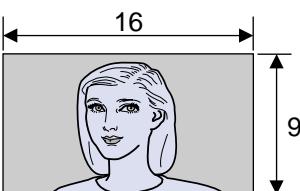
通常のテレビ放送

(メニュー操作で「オートワイド」を「2」、「4:3映像」を「ワイドズーム」に設定されている場合:
^{(7)8ページ})

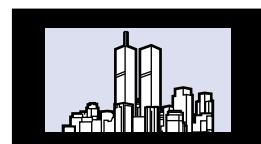


ワイドズーム

4:3の映像を16:9に拡大し、はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめます。

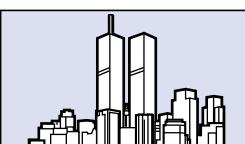


ワイドクリアビジョン放送*



ズーム

横長の映像をそのまま16:9に拡大します。



黒帯付きの映画

(字幕は映像の中)



ズーム

横長の映像をそのまま拡大します。



黒帯付きの映画

(字幕は映像の外)



字幕入

横長の映像をそのまま拡大し、字幕を圧縮して画面の中におさめます。



S-1方式*やID-1方式*の識別信号が入った映像



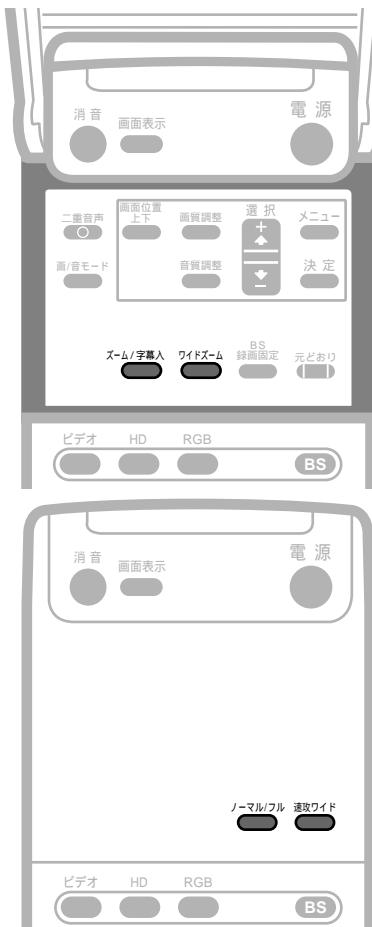
フル(またはズーム)

フル：4:3の映像を左右に引き伸ばして、16:9に拡大します。



HD1、2入力の映像は、フルになります。

* のついた用語は用語集をご覧ください。^{(7)63ページ}



速攻ワイドで楽しむには

見ている画面を、すばやく最適なワイド画面に切り替えるには、速攻ワイドボタンを押します。押してからすぐに画面が切り換わります。

速攻ワイド


ワイドズーム
 (またはノーマル)
 ズーム
 字幕入
 フル

最適なワイド画面
 になる。

手動でワイド画面に切り換えるには

電波の受信状態や暗い部分が多い映像などでは、最適なワイド画面にならない場合があります。このときは、手動でお好みのワイド画面に切り換えてください。ワイドズーム、ズーム／字幕入ボタンを押して、それぞれの画面モードに切り替えます。

●ワイドズーム

ワイドズーム


手動でワイド画面を切り換えたあと、オートワイドに戻るには

1 「オートワイド」を「2」に設定している(☞8ページ)とき、次のボタンを押すと「オートワイド：1」になります。

- ワイドズームボタン
 - ズーム／字幕入ボタン
 - ノーマル／フルボタン
- 2 以下のことを行ったときは、「オートワイド」の「2」に戻ります。
- チャンネルや入力を切り換える。
 - 電源を入／切する。

画面モードを固定しておくには

「オートワイド機能を働かせたくないときは(☞10ページ)を行ってください。

●ズーム／字幕入

ズーム／字幕入

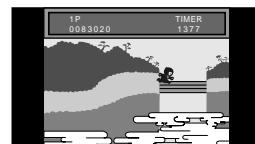

ズーム／字幕入ボタンを押します。
 ボタンを押すごとにズームと字幕入が入れ換わります。

4:3(通常のテレビ画面)または横に拡大した画面を楽しむときは

ノーマル／フルボタンを押すごとに、画面モードのノーマルとフルが切り換わります。

フルにすると、ビデオカメラの「フル」モードで出力された画像やテレビゲームなどを迫力のある画面で楽しめます。

ノーマル／フル

ノーマル(4:3の画面)



フル(左右に引き伸ばされた16:9の画面)

つづく


ワイド画面を楽しむ(オートワイド)(つづき)



ワイド画面への切り替えかたを設定する (オートワイドの設定)

通常のテレビ放送やレンタルビデオの黒帯付き映画など識別信号の無い画像を、どの画面モードに切り換えるかを設定できます。

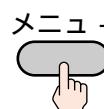
ワイドクリアビジョン放送やS-1方式、ID-1方式など識別信号の付いた画像は、本機が自動的に判断して、最適なワイド画面に切り替えます。

☞6ページ

モニター部前面のボタンでも、メニュー画面を操作できます。

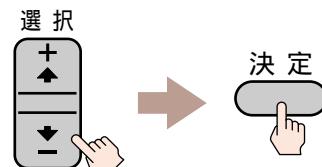
1

メニュー ボタンを押す。



2

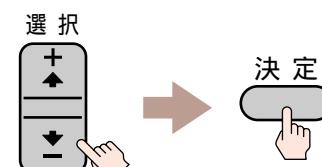
選択 + / - ボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。



3

「オートワイド設定」が選ばれている(黄色になっている)ことを確認して、決定ボタンを押す。

黄色になっていなければ、選択 + / - ボタンを押して選んでから、決定ボタンを押す。



4

「オートワイド」が選ばれている(黄色になっている)ことを確認して、決定ボタンを押す。



5

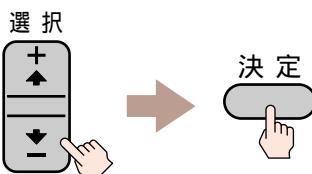
選択 + / - ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。

「オートワイド」の「1」と「2」の違いは?

「1」では、識別信号を本機が自動的に判断して、最適なワイド画面にします。

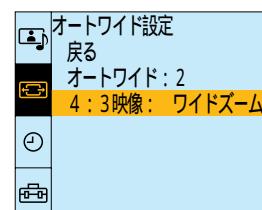
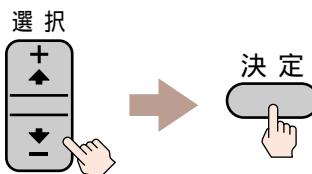
「2」では、「1」に加えて、画面の映像の無い部分(黒帯など)も判断して、最適なワイド画面にします。

	通常のテレビ放送 (4:3映像)は	黒帯付きの映画は
「オートワイド」を「1」にすると	速攻ワイドボタンを押したときだけ、手順7で設定した画面モード('ノーマル'または'ワイドズーム')へ切り換わります。	現在、選んでいる画面モードで映ります。また、速攻ワイドボタンを押すと、「ズーム」または「字幕入」へ切り換わります。
「オートワイド」を「2」にすると	つねに、手順7で設定した画面モード('ノーマル'または'ワイドズーム')へ自動的に切り換わります。	画面モードが「ズーム」または「字幕入」へ自動的に切り換わります。



6

選択 + / - ボタンを押して「4:3映像」を選び、決定ボタンを押す。



つづく

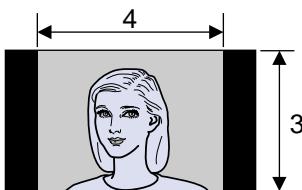
ワイド画面を楽しむ(オートワイド) (つづき)

7

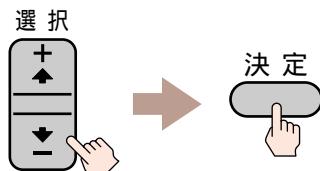
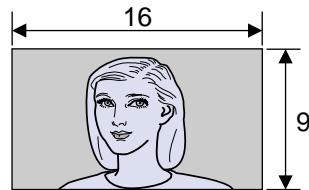
選択 + / - ボタンを押して、通常のテレビ放送(4:3映像)をどう映すかを選び、決定ボタンを押す。

通常のテレビ放送(4:3映像)は、次のように切り換わります。

「ノーマル」にすると
4:3の映像のまま映ります。

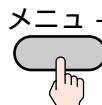


「ワイドズーム」にすると
4:3の映像を16:9に拡大し、
はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめて映ります。



8

メニュー ボタンを押してメニューを消す。

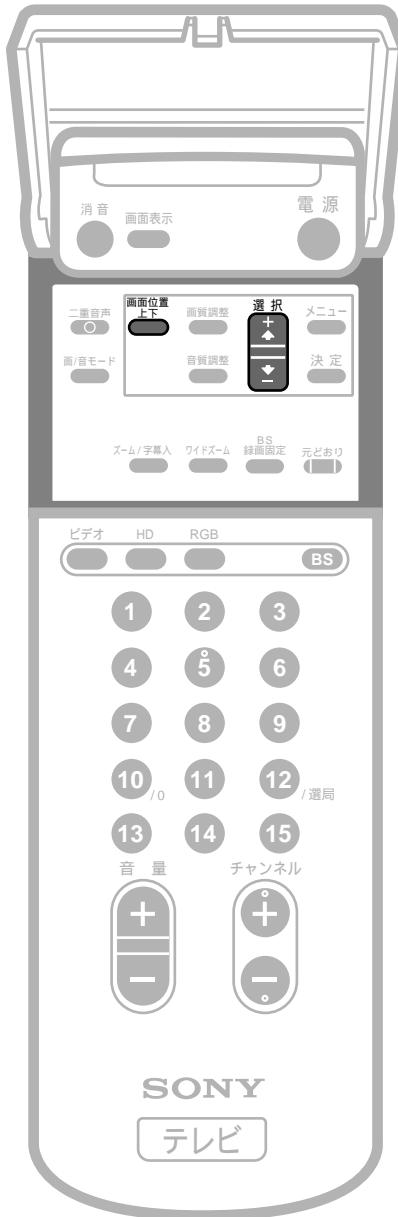


オートワイド機能を働かせたくないときは

手順5で「切」を選びます。

識別信号の有無に関係なく、すべての映像を、現在選んでいる画面モードで映します。チャンネルや入力を切り換えたり、電源を入／切しても、画面モードは変わりません。

ワイド画面を調整する



画面位置を上下に調整するには

以下のようなときは、画面を上下に動かしてください。

- **ワイドズーム画面**で画面の上または下が欠けるとき。
 - **ズーム画面**で画面を見やすい位置にしたいとき。
 - **字幕入画面**にしても字幕が画面に入りきらないとき。
- ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定できます。

1

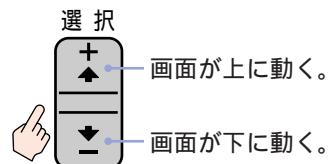
画面位置上下ボタンを押す。

画面位置はメニューでも設定できます。



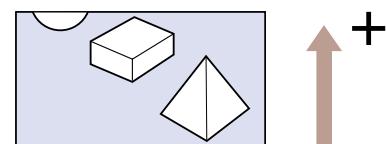
2

選択 + / - ボタンを押して画面の位置を調整する。

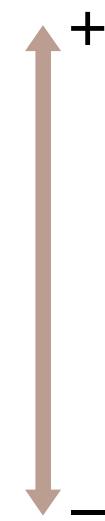
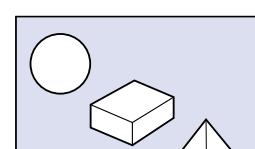
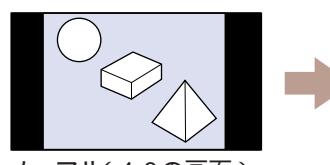


画面が上に動く。

画面が下に動く。



例)ズーム画面の場合



3

画面位置上下ボタンを押す。



ゲームやパソコンを見るには

パソコンをつなぐときは
53ページをご覧ください。

画面モードを選ぶ

画面モードを変えて、テレビ
ゲームやパソコンを楽しめます。
☞7ページ

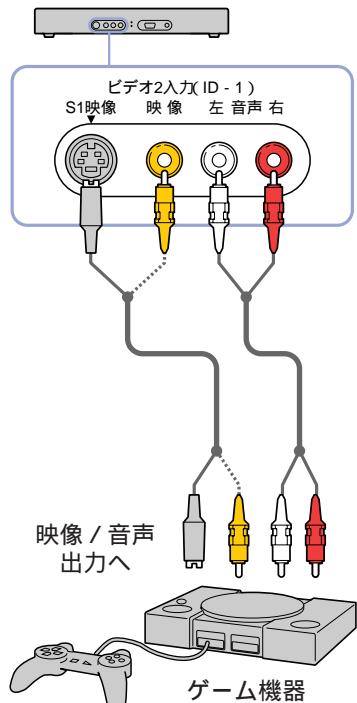
- ・ビデオ入力端子につないだ機器のときは、どの画面モードも選べます。選んだ画面モードは、本機に記憶されます。
- ・RGB入力端子につないだ機器のときは、ノーマルかフルモードを選べます。選んだ画面モードは、対応信号(☞53ページ)ごとに本機に記憶されます。



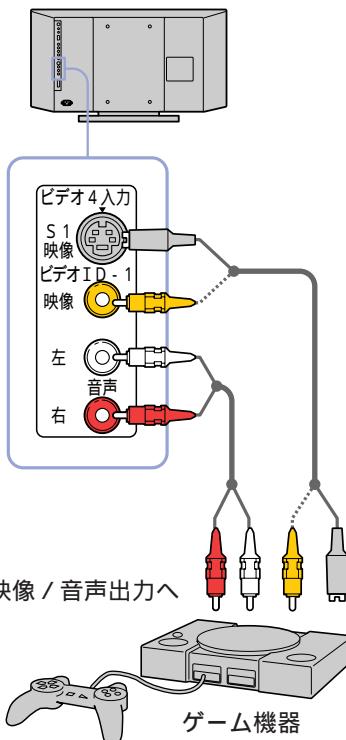
ゲーム機器をつなぐには

チューナー部のビデオ2入力端子や、モニター部のビデオ4入力端子に
ゲーム機器をつないで、ゲームを大きな画面で楽しめます。

チューナー部前面につなぐ 場合



モニター部裏面につなぐ 場合



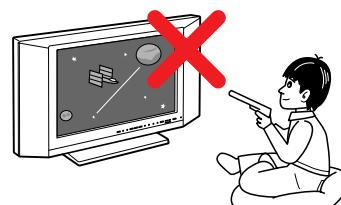
ゲームを見るには

ゲームの画像が出るまで、ビデオ
ボタンを繰り返し押す。



ご注意

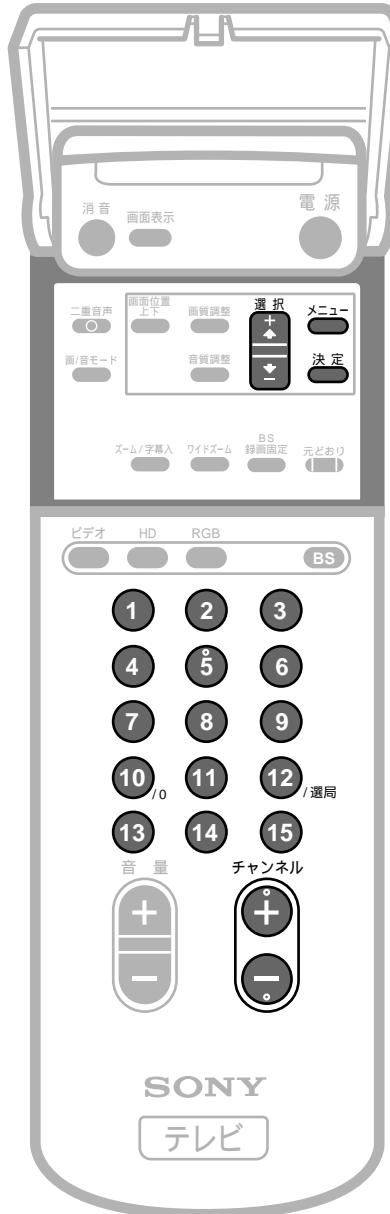
本機では、電子的なライフルやガン(銃)
などを使って、本機の画面を標的にする
ようなシューティングゲームなど、使用
できないテレビゲームがあります。



パソコンの画像を見るには

パソコンの画像が出るまで、RGB ボタンを繰り返し押す。





パソコンの画面位置を上下、左右に調整するには
(RGB1、2入力のとき)

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 選択+/-ボタンを押して、 (画面モード) を選び、決定ボタンを押す。
- 3 上下の位置を調整するときは、選択+/-ボタンを押して、「画面位置 上下」を選び、決定ボタンを押す。
左右の位置を調整するときは、選択+/-ボタンを押して、「画面位置 左右」を選び、決定ボタンを押す。
黄色のバーを「ノーマル」より下に移動させると、「画面モード」の次画面が現れ、「画面位置 上下」または「画面位置 左右」が出てきます。
- 4 選択+/-ボタンを押して、画面の位置を調整する。

画面位置上下: - 4

画面位置左右: +13

- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

パソコンの画像がぼんやりしているときは
(ノーマルモードのときのみ)

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 選択+/-ボタンを押して、 (画面モード) を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択+/-ボタンを押して、「画面位相調整」を選び、決定ボタンを押す。
黄色のバーを「ノーマル」より下に移動させると、「画面モード」の次画面が現れ、「画面位相調整」が出てきます。
- 4 選択+/-ボタンを押して、画像がはっきりするように調整する。

画面位相調整: 7

- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

テレビ画面に戻すには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/-ボタンを押します。

画質を調整する

「画質 / 音質を調整する」 16ページ。調整後の画質と音質は、各ビデオ入力、各RGB入力ごとに、本機に記憶されています。

デコーダーを使って衛星放送を見る



ハイビジョン放送*
1996年11月現在、BS9チャンネルでは実用化試験局による放送が行われています。

ご注意
デコーダーを接続して衛星放送を見ているときは、音声モードは表示されません。音声モードの切り替えは、デコーダー側で行ってください。
また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

BSデコーダー*やMUSEデコーダー*をつないで(「BSデコーダーをつなぐ」☞44ページ) BS5チャンネルやハイビジョン放送を見ることができます。

1

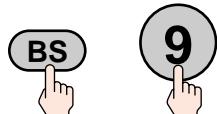
BSデコーダーまたは、MUSEデコーダーの電源を入れる。

2

放送を選ぶ。
WOWOWを見るには



ハイビジョン放送を見るには



独立音声を聞くには

1996年11月現在、独立音声放送*はBS5チャンネル(St.GIGA)でのみ放送されています。(St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。)

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 選択+/-ボタンを押して□(各種切換)を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択+/-ボタンを押して「TV/独立音声選択」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択+/-ボタンを押して「独立ステレオ」にし、決定ボタンを押す。スクランブル*がかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り替えます。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ビデオなどを見る



入力を切り換えて、ビデオやハイビジョン関連機器などの映像を見ることができます。

1

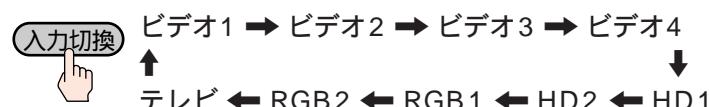
見たい入力の画像が出るまで、ボタンを繰り返し押す。

押すたびに次のように切り換わります。

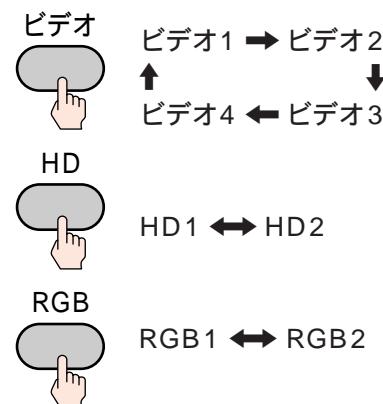
モニター部前面のボタンで

- 1 コントロールボタンを押す。
操作できるボタンが点灯します。

- 2 入力切換ボタンを押す。



リモコンで



2

ビデオやハイビジョン関連機器などを操作する。

詳しくは、ビデオなどの取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻るには

チャンネル数字またはチャンネル+ / -ボタンを押します。

画質 / 音質を調整する



部屋の明るさや番組に合わせて、3種類の画質 / 音質を選ぶことができます。

部屋の明るさに合わせて画質を選ぶ

画 / 音モードボタンを押す。

画/音モード



押すたびに、画質 / 音質は下記の順に変わります。

スタンダード ふつうの明るさの部屋で、
くっきりした映像を見たい
とき

↓ 押す

シアター 部屋を暗くして、きめ細か
な映像と臨場感ある音声で
映画などを楽しむとき

押す

AVメモリー ご自分で設定した画質 / 音
質で楽しみたいとき（設定
のしかたは、④次ページ）

↓ 押す

ご注意

「スタンダード」と「シアター」
の画質 / 音質は調整できません。

通常、ご家庭でご覧になるときは

AVメモリーの「画質調整」「音質調整」を「標準」にしておくことをお
すすめします。



AVメモリーは、入力(例:ビデオ1、ビデオ2、BSなど)ごとに、それぞれについて画質/音質を設定できます。

お好みの画質に調整する(AVメモリー)

画質をお好みに合わせて調整し、AVメモリーに記憶させることができます。画/音モードボタンを押して「AVメモリー」を選択すると、記憶させた画質で見ることができます。

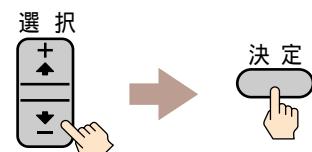
1

画質調整ボタンを押す。



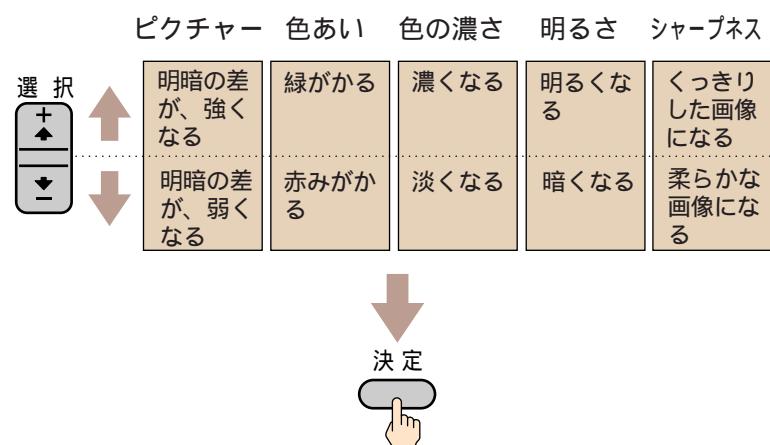
2

選択 + / - ボタンを押して調整する項目を選び、決定ボタンを押す。



3

選択 + / - ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。



つづく

画質 / 音質を調整する(つづき)

画質 / 音質を標準の状態(お買い上げ時)にするには
それぞれの調整項目の一番下にある「標準」を選びます。
画質 / 音質はメニューでも設定できます。

4

手順2と3を繰り返して、他の項目を調整する。

5

画質調整ボタンを押してメニューを消す。

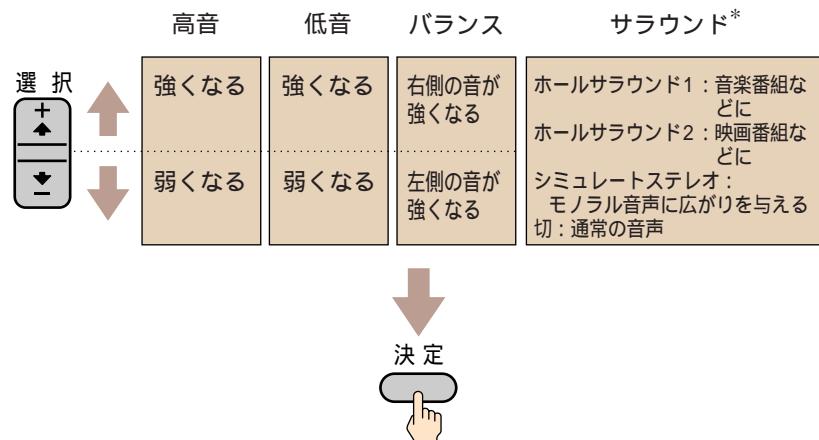
画面を消すには

独立音声のみを聞くときなどに、画面のみ消すことができます。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 選択 + / - ボタンを押して  (各種切換) を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 + / - ボタンを押して「消画」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 + / - ボタンを押して「入」にして、決定ボタンを押す。

お好みの音質に調整する(AVメモリー)

画質と同様、音質もお好みに合わせて調整し、AVメモリーに記憶させることができます。画質調整ボタンのかわりに、音質調整ボタンを押すと、下記の項目を調整することができます。



*のついた用語は用語集をご覧ください。[63ページ](#)

衛星放送を録画する

テレビのBSチューナーを使って、衛星放送をビデオに録画することができます。この場合、必ず「衛星放送を録画するための接続」(☞51ページ)を行ってください。



*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

見ながら録画する

- 1 録画したい衛星放送の番組をテレビに映す。
- 13 14 15
- 2 ビデオデッキを操作する。
ビデオデッキの入力切換を外部入力(またはライン入力)にしてから、録画を始めてください。

裏番組を録画するには(BS録画固定)

テレビ(VHF、UHF、CATV)やビデオを見ながら、衛星放送を録画することができます。このとき、録画している番組を誤って切り換えないよう、下の操作を行ってください。

- 1 録画したい番組をテレビに映す。
- 2 BS録画固定ボタンを押す。

BSチューナー部のチャンネルが固定されて、ほかのBSのチャンネルに切り換わらなくなります。BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。

録画が終わったあとでも48時間はBSのチャンネルが切り換わらない状態になります。ほかのチャンネルを見るときは、もう一度BS録画固定ボタンを押してください。BS録画固定が解除されます。

ご注意

BS録画固定の操作は、衛星放送チャンネルを選んでいるときのみできます。

独立音声を録音するには

メニューの「各種切換」から「TV / 独立音声選択」を選び、「独立」にしてください。スクランブル*放送のときは、デコーダー側で独立音声を選んでください。



衛星放送を録画する(つづき)

予約録画する

48時間以内の番組を簡単に予約録画することができます。

- 1 録画したい衛星放送の番組をテレビに映す。

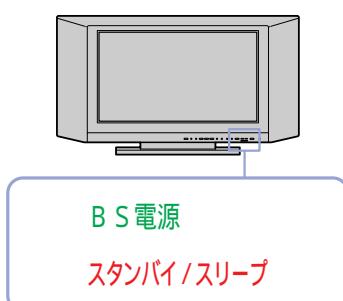


- 2 ビデオデッキで録画を予約する。ビデオデッキの入力切換を外部入力(ライン入力)にしてください。

- 3 BS録画固定ボタンを押す。



- 4 リモコンで電源を切る。



BS電源ランプが点灯したままになります。

ご注意

- ・モニター部裏面の主電源ボタンでテレビを消すと録画できなくなります。BS録画固定も解除されます。
- ・スクリンブルのかかった放送を録画するときは、デコーダーの電源を入れたままにしてください。

BS録画固定を解除するには

もう一度、リモコンで電源を入れたあと、BS録画固定ボタンをもう一度押します。

ご注意

- ・BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- ・BS録画固定を押してから、またはメニューの①(タイマー)の「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。
- ・ハイビジョン放送*を録画するときはMUSE-NTSCコンバーター*が必要です。(「MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ」[☞]45ページ)

*のついた用語は用語集をご覧ください。[☞]63ページ

音声を切り換える



二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声+副音声のいずれかを選べます。

二重音声ボタンを繰り返し押しして、選ぶ。



例)「主／副」を選んだとき



画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主／副	主音声	副音声

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、雑音を軽減できます。

モニター部でのみ操作できます。

設定したいチャンネルを選んでから下記の操作を行ってください。

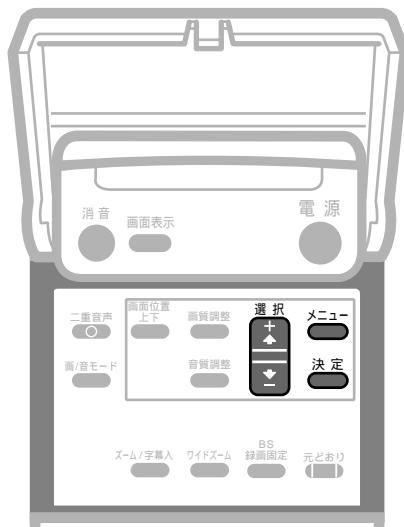
- 1 モニター部前面のコントロールボタンを押す。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 設定ボタンを押す。
- 4 選択 + / - ボタンを押して「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 + / - ボタンを押して「オーステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 選択 + / - ボタンを押して「切」にして、決定ボタンを押す。
- 7 設定ボタンを押して、メニューを消す。

時計を表示する

時計を画面に表示させることができます。メニュー画面を操作するとき以外、つねに表示されます。

昼の12時は「0:00PM」、夜の12時は「0:00AM」と表示されます。
まず、時計を合わせます。

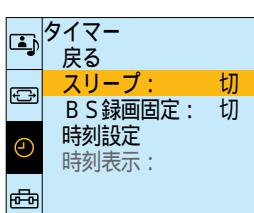
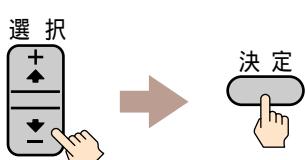
時計を合わせる



1 メニューボタンを押す。

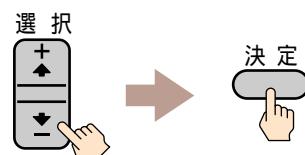


2 選択 + / - ボタンを押して①(タイマー)を選び、決定ボタンを押す。



3

選択 + / - ボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。



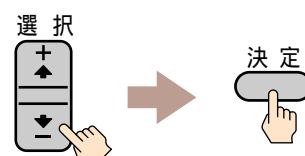
4

--- : --- が黄色になっていることを確認して、決定ボタンを押す。



5

時間を設定する。
時→分の順に設定します。選択 + / - ボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押し



6

メニュー ボタンを押して、メニューを消す。

時計を表示させる

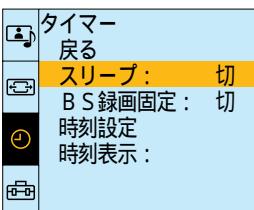
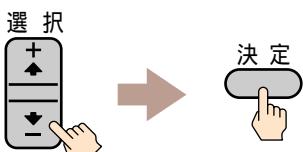
1

メニュー ボタンを押す。



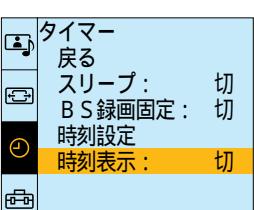
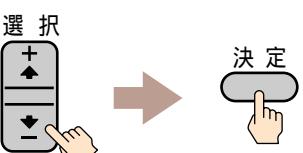
2

選択 + / - ボタンを押して ⓧ(タイマー) を選び、決定ボタンを押す。



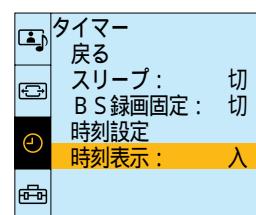
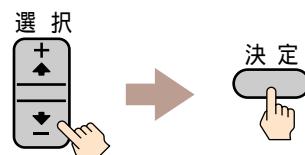
3

選択 + / - ボタンを押して「時刻表示」を選び、決定ボタンを押す。



4

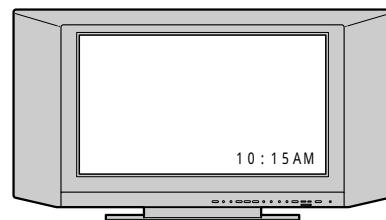
選択 + / - ボタンを押して「入」にして、決定ボタンを押す。



5

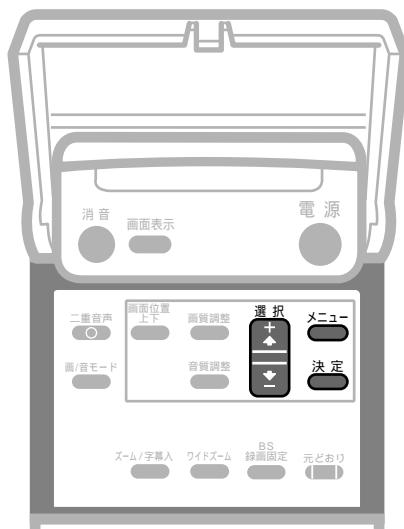
メニュー ボタンを押して、メニューを消す。

時計が表示されたままになります。



スリープタイマーで電源を切る

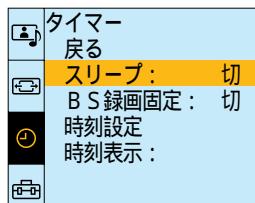
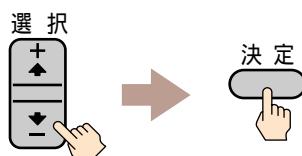
テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば、約1時間後にテレビが消えます。



1 メニュー ボタンを押す。

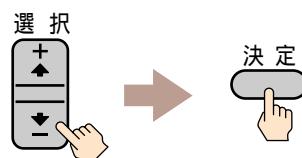


2 選択 + / - ボタンを押して⑦(タイマー) を選び、決定ボタンを押す。



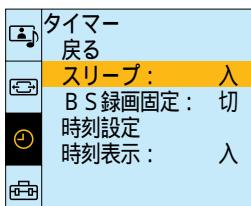
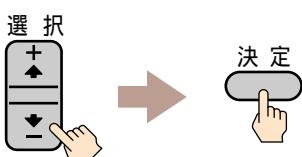
3

選択 + / - ボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。



4

選択 + / - ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
モニター部のスタンバイ / スリープランプが点灯します。

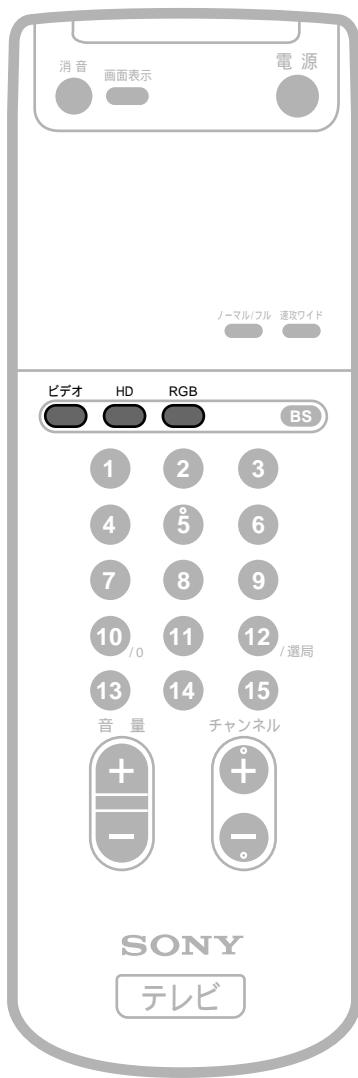


5

メニュー ボタンを押して、メニューを消す。

モニターとして使う

モニター部のみで使うことができます。
あらかじめ、映像機器をモニター部裏面
の端子につなぎ、「モニターモード」に設
定してください。☞56ページ



画像を映す

ビデオ4端子につないだ機器の映像を映す
には

ビデオボタンを押す。



HD2入力端子につないだ機器の映像を映
すには

HDボタンを押す。



RGB2入力端子につないだ機器の映像を
映すには

RGBボタンを押す。



ご注意

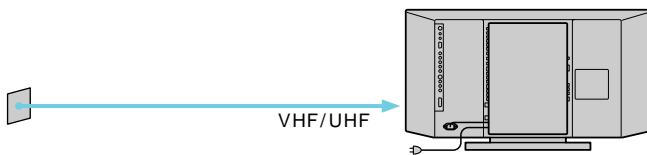
- ・モニターとして使っているとき、下記の操作はでき
ません。
 - ミ チャンネル切り換え
 - ミ ビデオ1、2、3入力、HD1入力、RGB1入力の映
像を見ること
 - ミ BS録画固定
 - ミ 二重音声の切り替え
 - ミ TV / 独立音声選択
 - ミ テレビ設定 / BS設定 / オートステレオの設定
- ・モニター部のスタンバイ / スリープランプがついで
いるときに、リモコンの緑色表示のボタンを押すと
自動的にテレビがつき、最後に選ばれていた入力(ビ
デオ4入力、HD2入力、RGB2入力のいずれか)が映
ります(チャンネルポン)。

準備早わかり

受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。

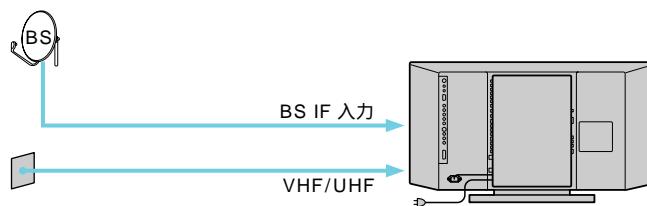
下の例を参考に準備をしてください。

テレビ



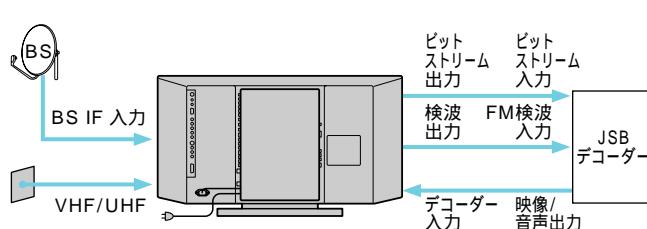
- 1 チューナー部とモニター部をつなぐ[☞]30ページ
- 2 テレビアンテナをつなぐ[☞]32ページ
- 3 電源をつなぐ[☞]30ページ
- 4 テレビチャンネルを設定する[☞]34ページ

テレビ + BS(NHK衛星第1、第2)



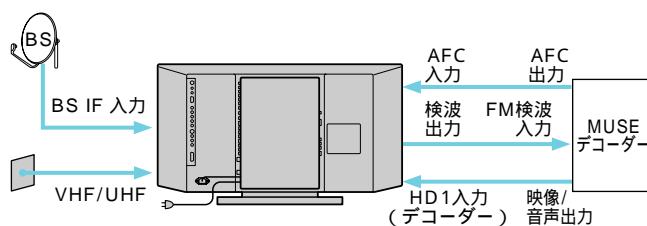
- 1 チューナー部とモニター部をつなぐ[☞]30ページ
- 2 テレビアンテナをつなぐ[☞]32ページ
- 3 BSアンテナをつなぐ[☞]40ページ
- 4 電源をつなぐ[☞]30ページ
- 5 テレビチャンネルを設定する[☞]34ページ
- 6 BS受信の設定をする[☞]41ページ

テレビ + 有料BS(WOWOW、St.GIGA)



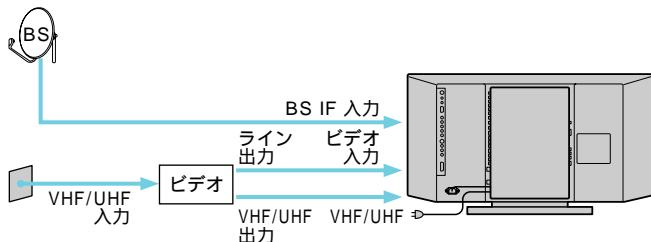
- 1 チューナー部とモニター部をつなぐ[☞]30ページ
- 2 テレビアンテナをつなぐ[☞]32ページ
- 3 BSアンテナをつなぐ[☞]40ページ
- 4 JSBデコーダーをつなぐ[☞]44ページ
- 5 電源をつなぐ[☞]30ページ
- 6 テレビチャンネルを設定する[☞]34ページ
- 7 BS受信の設定をする[☞]41ページ

テレビ + BS(NHK衛星第1、第2、ハイビジョン放送)



- 1 チューナー部とモニター部をつなぐ[☞]30ページ
- 2 テレビアンテナをつなぐ[☞]32ページ
- 3 BSアンテナをつなぐ[☞]40ページ
- 4 MUSEデコーダーをつなぐ[☞]44ページ
- 5 電源をつなぐ[☞]30ページ
- 6 テレビチャンネルを設定する[☞]34ページ
- 7 BS受信の設定をする[☞]41ページ

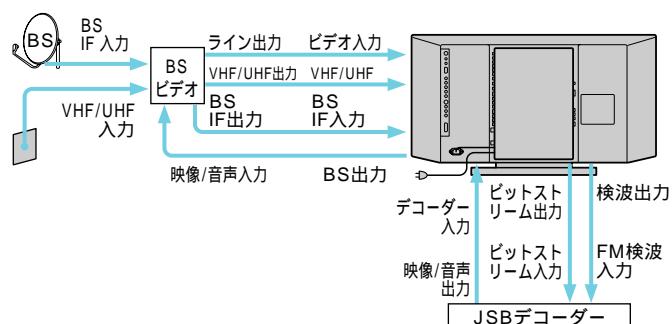
テレビ + BS(NHK衛星第1、第2) + ビデオ



- 1 チューナー部とモニター部をつなぐ[☞]30ページ
- 2 テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ[☞]32、50ページおよびビデオデッキの取扱説明書
- 3 BSアンテナをテレビにつなぐ[☞]40ページ
- 4 ビデオデッキをテレビにつなぐ[☞]50ページ
- 5 電源をつなぐ[☞]30ページ
- 6 テレビチャンネルを設定する[☞]34ページ
- 7 BS受信の設定をする[☞]41ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」([☞]51ページ)を行ってください。
ハイビジョン放送を録画する場合は、「MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ」([☞]45ページ)を行ってください。

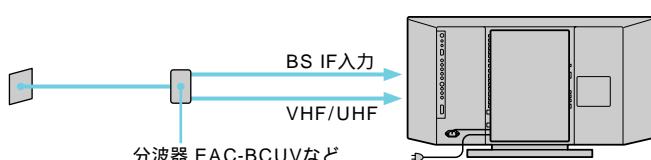
テレビ + 有料BS(WOWOW、St.GIGA) + BSビデオ



- 1 チューナー部とモニター部をつなぐ[☞]30ページ
- 2 テレビ / BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ[☞]32、40、50ページおよびビデオデッキの取扱説明書
- 3 JSBデコーダーをテレビにつなぐ[☞]44ページ
- 4 ビデオデッキをテレビにつなぐ[☞]50ページ
- 5 電源をつなぐ[☞]30ページ
- 6 テレビチャンネルを設定する[☞]34ページ
- 7 BS受信の設定をする[☞]41ページ

マンションなどの共同受信システムの場合

マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。



- 1 チューナー部とモニター部をつなぐ[☞]30ページ
- 2 分波器を使ってテレビ / BSアンテナをつなぐ[☞]40ページ
- 3 電源をつなぐ[☞]30ページ
- 4 テレビチャンネルを設定する[☞]34ページ
- 5 BS受信の設定をする[☞]41ページ

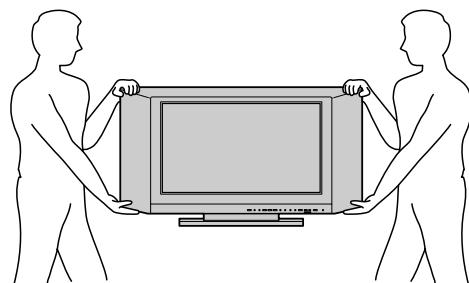
ケーブルテレビの場合

ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

接続する前に

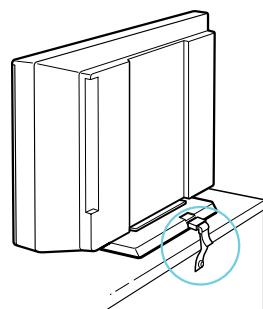
テレビを運ぶとき

必ず2人以上で運ぶようにしてください。
運ぶときは図のように片手で下を持ち、もう一方の手で前面上部を支えるようにしてください。
持ち運ぶときは、チューナー部を必ずモニター部から取りはずしてください。



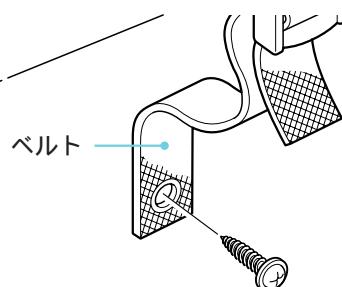
テレビの転倒を防ぐために

お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。付属のテレビラック固定ベルトを使ってテレビの転倒を防いでください。

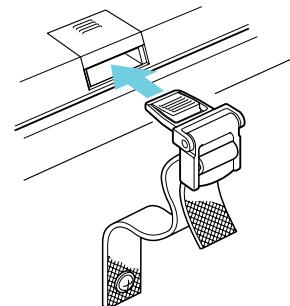


1 固定ベルトをスタンドなどに取り付ける。

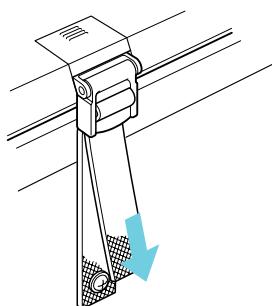
付属のネジはしっかりと締めてください。



2 バックルをカチッというまで差し込む。

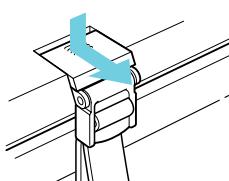


3 ベルトを引く。

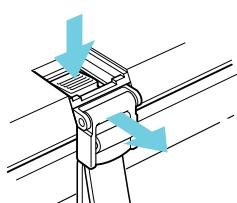


はずしかた

1 ふたを上から押しながら、はずす。



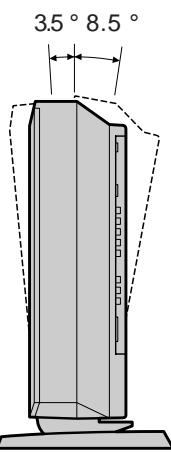
2 バックルを上から押しながら、引き抜く。



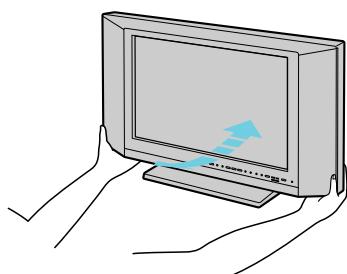
3 ふたを差しこんで元に戻す。

スタンドの使いかた

画面の向きを、上方向に8.5°、下方向に3.5°調節できます。



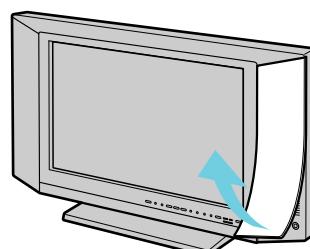
画面の向きを変えるときは、両手でスピーカーの下を持って動かしてください。



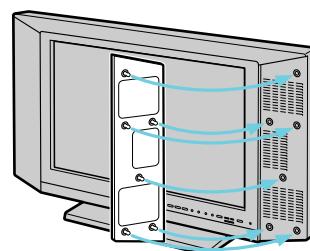
スピーカーネットを取り換える

本機には、モニター部に装着済みのものを含めて、3色のスピーカーネットから、お好きな色が選べます。

スピーカーネットを取りはずすには下を持って、ゆっくりはがす。



スピーカーネットを取り付けるには突起部を合わせて、はめこむ。



ご注意

- 取りはずすときに、爪を傷つけないように注意してください。
- 取り換えるときは、爪でスピーカーネットを破らないように注意してください。

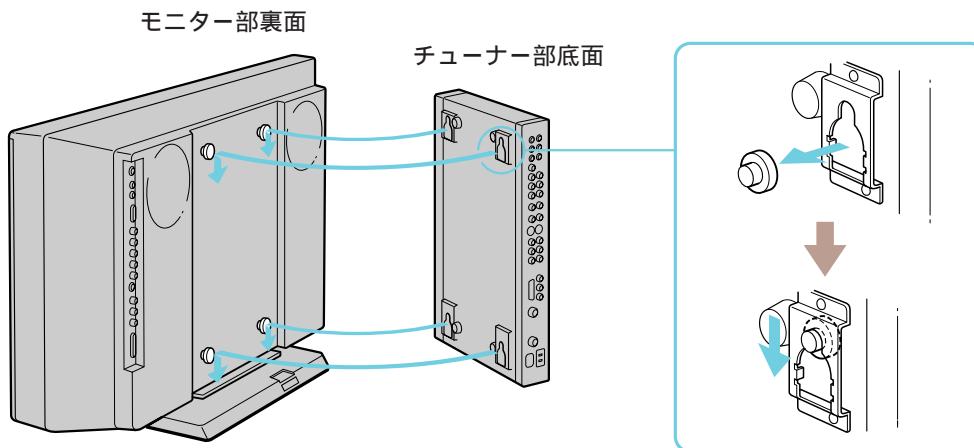
モニター部とチューナー部をつなぐ

本機は、モニター部とチューナー部とに分かれています。付属の36ピンマルチケーブルでつなぐと、通常のテレビと同じように使用できます。

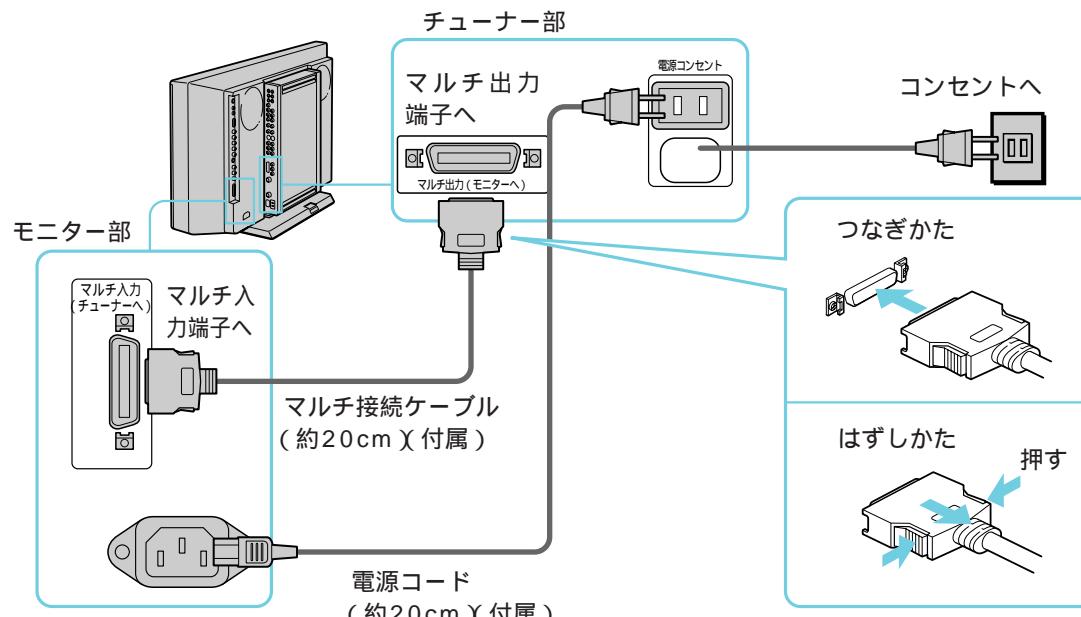
チューナー部をモニター部に取り付けて一体型にしたり、チューナー部とモニター部を離して設置したりすることができます。

チューナー部をモニター部に取り付けて使う場合

- 1 チューナー部をモニター部に取り付ける。
モニター部の突起とチューナー部底面の穴を合わせてから、下向きにすべらせて、しっかりと取り付けてください。

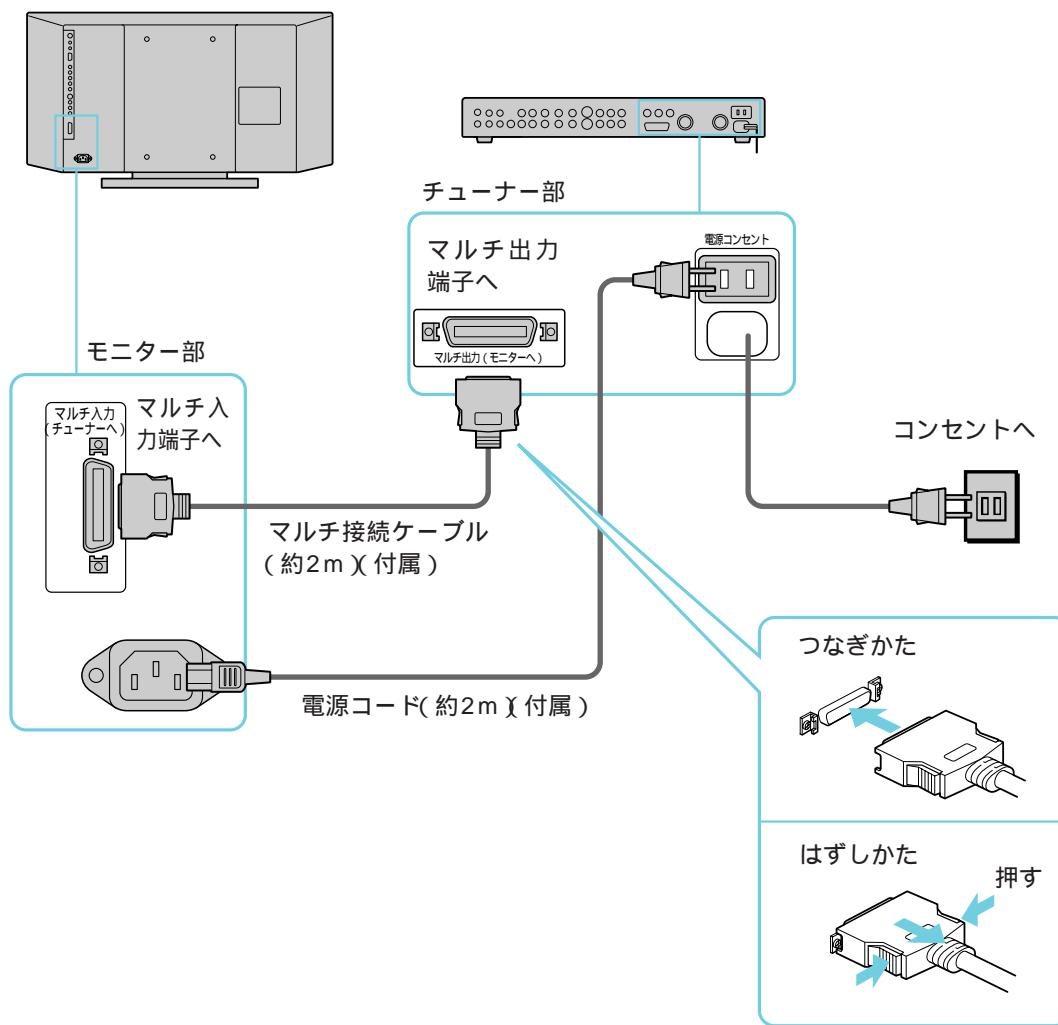


- 2 チューナー部とモニター部をつなぐ
付属の36ピンマルチケーブル(約20cm)と電源コード(約20cm)を使います。



チューナー部をモニター部から離して使う場合

付属の36ピンマルチケーブル(約2m)と電源コード(約2m)を使います。



テレビアンテナをつなぐ

アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。

下の例から最も近いもの選び、接続してください。

VHF / UHF端子に接続するときは、付属のアンテナ接続ケーブルをお使いください。

なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

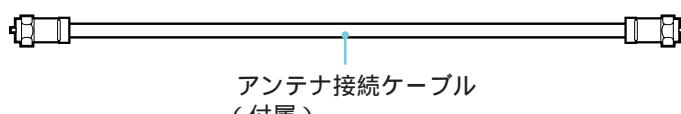
アンテナ端子の形

使用するケーブルなど

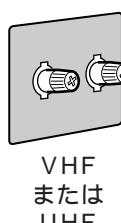
壁とテレビは、付属のケーブルを使用してできるだけ離してください。



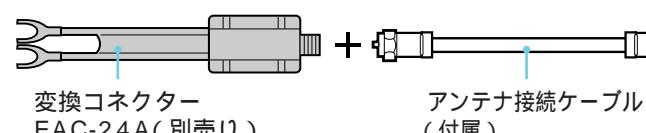
VHF/UHF
または
VHF
または
UHF



アンテナ接続ケーブル
(付属)

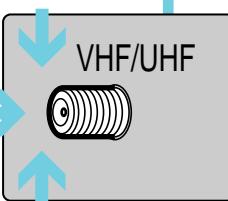
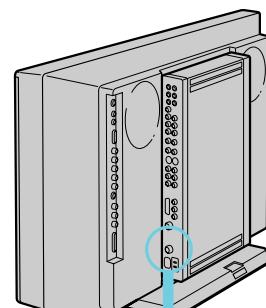


VHF
または
UHF



変換コネクター
EAC-24A(別売り)

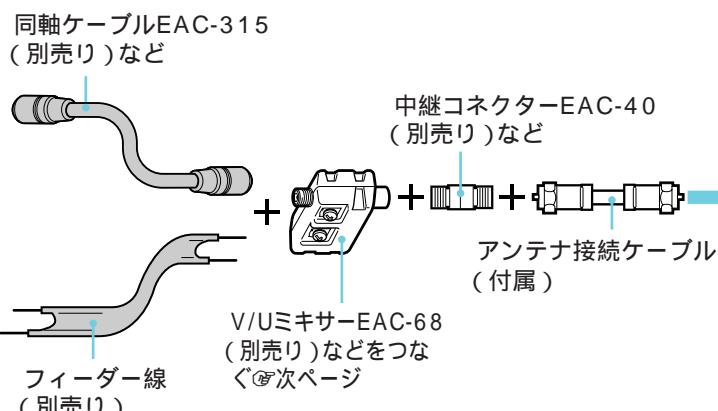
アンテナ接続ケーブル
(付属)



VHF/UHF



VHF
と
UHF



同軸ケーブルEAC-315
(別売り)など

中継コネクターEAC-40
(別売り)など

アンテナ接続ケーブル
(付属)

V/UミキサーEAC-68
(別売り)などをつな
ぐ(次ページ)

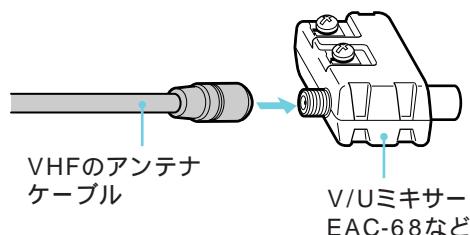
フィーダー線
(別売り)

フィーダー線は同軸ケーブルにくらべ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。

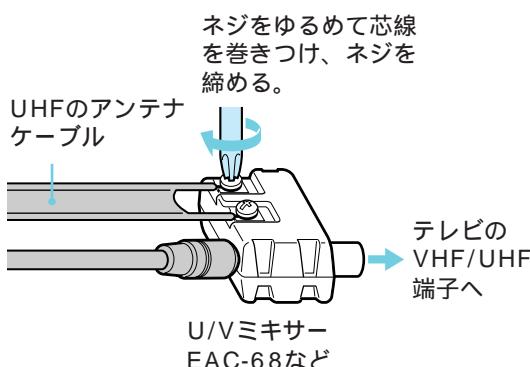
フィーダー線をご使用になる場合はテレビ本体からできる限り離してください。

V/Uミキサーをつなぐ

1



2



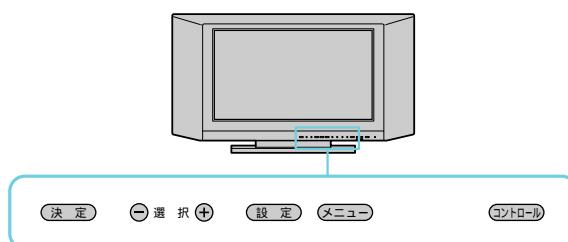
きれいな画像をお楽しみいただくために

このテレビは、たくさんのデジタル回路による新しいテクノロジーが搭載されており、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態が非常に大切です。また、室内アンテナを用いたり、アンテナ線の接続方法によっては受信状態が不安定になり妨害電波を受けやすくなりますので、下記の項目をお読みいただき、アンテナ線の接続と設置を確実に行ってください。

- ・ 本機裏面のアンテナ端子への接続は、アンテナ線がフィーダー線／同軸ケーブルのどちらであっても、必ず付属のアンテナ接続ケーブルで行ってください。
- ・ アンテナ線の周辺に電源コードやその他の接続コード類を重ねたり、引き回したりしないでください。
- ・ 室内アンテナはとくに妨害電波を受けやすいので使用しないでください。

チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF/UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタン(チャンネルポジション)に自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑯のボタンにあらかじめ割り当てありますので、設定しなくても見ることができます。



モニター部でのみ操作できます。

- 1 コントロールボタンを押す。
操作できるボタンが点灯します。



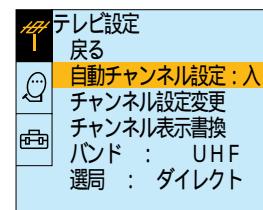
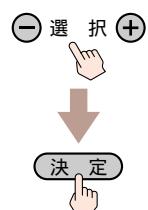
- 2 メニューボタンを押す。
メニュー操作ボタンが点灯します。



- 3 設定ボタンを押す。



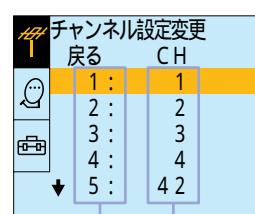
- 4 選択 + / - ボタンを押して「 (テレビ設定)' を選び、決定ボタンを押す。



- 5 「自動チャンネル設定」が選ばれている(黄色になっている)ことを確認して、決定ボタンを押す。



- 6 「入」になっていることを確認して決定ボタンを押す。
自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下の画面に変わります。



チャンネル
ポジション
(リモコンの
数字ボタン)

設定された
チャンネル

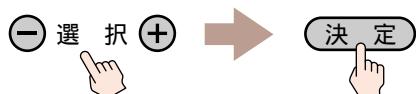
7

設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。

5より大きい番号を確認するには、黄色のバーを画面の下まで動かします。

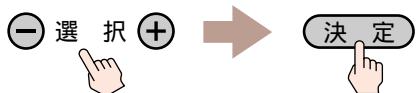
変更するには

- 1 変更したい数字(リモコンの数字ボタン)を黄色にして、決定ボタンを押す。



設定されたチャンネルが映ります。

- 2 選択 + / - ボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。



- 3 手順1と2を繰り返して、他のチャンネルを変更する。

8

設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル設定を中断するには

「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押す。

UHFのチャンネル番号について

地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

設定されたチャンネルを変更するには

- 1 コントロールボタンを押す。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 設定ボタンを押す。
- 4 選択 + / - ボタンを押して「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 + / - ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 「チャンネルを自動設定する」の手順7に従って、チャンネルを変更する。
- 7 設定ボタンを押して、メニューを消す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

- 1 コントロールボタンを押す。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 設定ボタンを押す。
- 4 選択 + / - ボタンを押して「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 + / - ボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 選択 + / - ボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 選択 + / - ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 8 「チャンネルを自動設定する」の手順7に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。
- 9 設定ボタンを押して、メニューを消す。

つづく
→

チャンネルを自動設定する(つづき)

チャンネル表示を書き換えるには

- 1 コントロールボタンを押す。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 設定ボタンを押す。
- 4 選択 + / - ボタンを押して  (テレビ設定) を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 + / - ボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



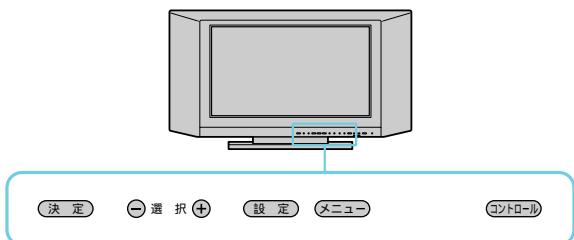
- 6 表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
- 7 選択 + / - ボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
- 8 設定ボタンを押してメニューを消す。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル + / - ボタンを押したときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす(選局しない)ように設定することができます。

- 1 「チャンネルを自動設定する」の手順7の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
- 2 選択 + / - ボタンを押して、「CH」を「0」にする。
- 3 設定ボタンを押してメニューを消す。

10キー選局にする



10キー選局とは

数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります（「ダイレクト選局」）が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせてお好きなチャンネルを選ぶことができます。

例) 24チャンネル



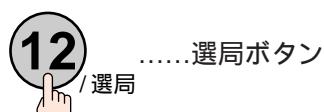
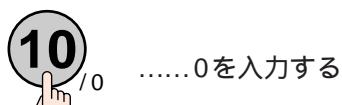
10チャンネル



BS7チャンネル



数字ボタンの10と12は以下の働きになります。



10キー選局に切り換える

モニター部でのみ操作できます。

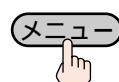
1

コントロールボタンを押す。
操作できるボタンが点灯します。



2

メニューボタンを押す。
メニュー操作ボタンが点灯します。



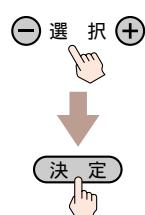
3

設定ボタンを押す。



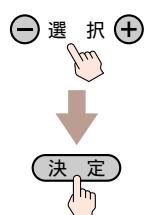
4

選択 + / - ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。



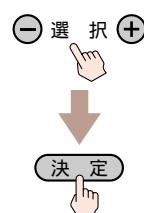
5

選択 + / - ボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。



10キー選局にする(つづき)

- 6 選択 + / - ボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。



- 7 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル+ / - ボタンで選べる局を設定する

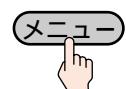
お買い上げ時は、チャンネル+ / - ボタンで、1~12チャンネルとBS5、BS7、BS11チャンネルを選ぶことができます。これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

モニター部でのみ操作できます。

- 1 コントロールボタンを押す。
操作できるボタンが点灯します。



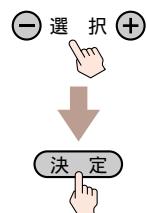
- 2 メニューボタンを押す。
メニュー操作ボタンが点灯します。



- 3 設定ボタンを押す。

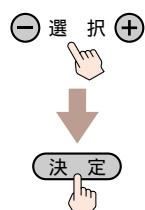


- 4 選択 + / - ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。



5

選択 + / - ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

**6**

見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。

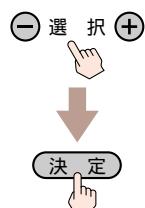
例) 42チャンネルなら



例) BS7チャンネルなら

**7**

選択 + / - ボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選んで、決定ボタンを押す。

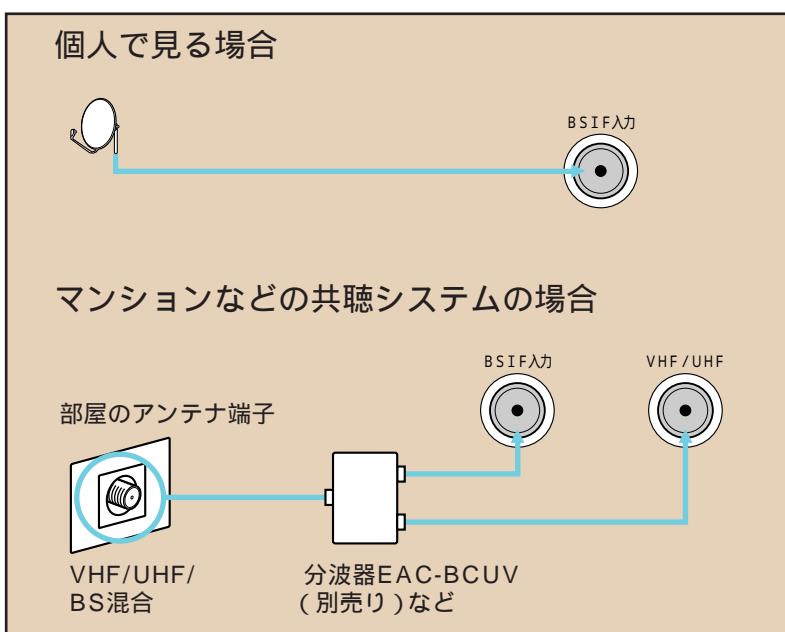
**8**

複数のチャンネルを設定する場合は、手順6と7を繰り返す。

9

設定ボタンを押してメニューを消す。

BSアンテナをつなぐ

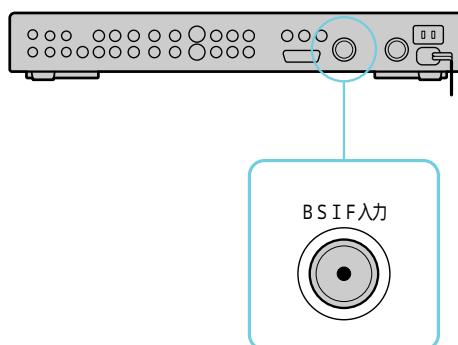


BS受信用の別売り商品

- ・ BSアンテナ
SAN-50HD2(50cmタイプ)
- ・ アンテナ取り付け金具
ANJ-K1(壁面タイプ)
ANJ-B1(ベランダタイプ)
- ・ サテライト分配器
EAC-BC2
EAC-BC4
- ・ BS/UV混合分波器
EAC-BCUV
- ・ BS用ブースター
BO-BC20
- ・ 同軸ケーブル
SAK-C10 (10m)
SAK-C20 (20m)
SAK-C30 (30m)

アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。[次ページ](#)

アンテナをつなぐ端子はチューナー部裏面にあります



受信状態について

次のようなときは、BSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。

- ・ 雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
- ・ アンテナに雪が付着しているとき
- ・ 春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき（食のとき）
- ・ 強風などで、アンテナの向きが変わったとき

[43ページをご覧のうえ、アンテナを調整してください。](#)

アンテナケーブルをつなぐときのご注意

- ・ ケーブル、アンテナコネクターは、BS専用のものをお使いください。VHF/UHFのアンテナコネクターは、BS用には使わないでください。
- ・ 工具を使わずに、手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子をいためることができます。
- ・ BS IF入力端子はDC15Vの電源をBSアンテナ(コンバーター)に供給します。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。

サテライト分配器についてのご注意

サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ(EAC-BC2またはEAC-BC4など)をお使いください。サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じことがあります。

テレビ画面に「コンバーター電源を確認してください」という表示が出ているときは

BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐにテレビ本体の電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

BS受信の設定をする

BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「BS設定」をしてください。

BS電源を設定する



モニター部でのみ操作できます。

1 BSのチャンネルにする。

2 コントロールボタンを押す。
操作できるボタンが点灯します。



3 メニューボタンを押す。
メニュー操作ボタンが点灯します。

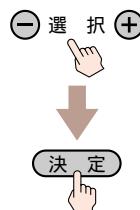


4 設定ボタンを押す。



5

選択 + / - ボタンを押して BS(BS設定)を選び、決定ボタンを押す。
BSのときのみ選択できます。



6

選択 + / - ボタンを押して「BS電源」を選び、決定ボタンを押す。



7

選択 + / - ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。

項目	選択 + / - ボタンを押すごとに選べる内容	
BS電源	切	BSコンバーターへの電源は供給されない。
	連動	テレビがついているとき、BSコンバーターへ電源を供給する。
	●オート	BSコンバーターへの電源供給を、テレビが自動的に判断して行う。

(●は、お買い上げ時の設定を示します。)

準備編

つづく

BS受信の設定をする(つづき)

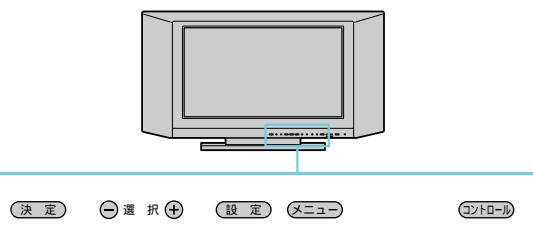
- 8 設定ボタンを押してメニューを消す。

ご注意

サテライト分配器を用いて他のテレビやビデオなどを接続している場合は、BSコンバーターへの電源供給が不安定になることがあります。この場合は、個別アンテナのときは「BS電源」を「連動」に、共聴システムのときは「切」に設定してください。

アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。最良の調整ができるように、テレビの画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

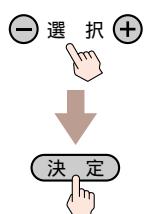


モニター部でのみ操作できます。

- 1 放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。
- 2 コントロールボタンを押す。
操作できるボタンが点灯します。
- 3 メニューボタンを押す。
メニュー操作ボタンが点灯します。
- 4 設定ボタンを押す。

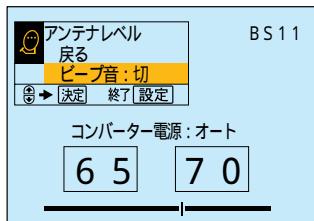
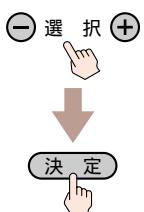
5

選択 + / - ボタンを押して BS(BS設定)を選び、決定ボタンを押す。
BSのときのみ選択できます。



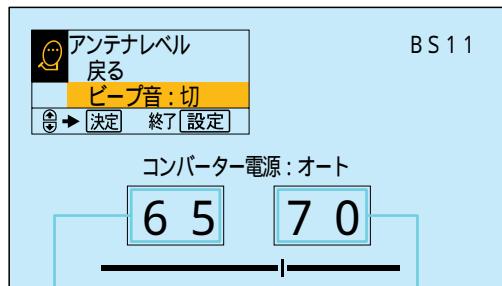
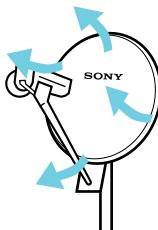
6

選択 + / - ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。



7

アンテナを調整する。
アンテナレベル*の数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。



今入っている
アンテナレベル
(緑色の数字)
最大値
(黄色の数字)

コンバーター電源が「切」になっているときは、「BS電源」を「オート」または「連動」に設定してください。☞41ページ

8

調整が終わったら、設定ボタンを押してメニューを消す。

音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

- 1 手順6のあと「ピープ音」を選び、「入」にして、決定ボタンを押す。
- 2 手順7で連続した高音になるようアンテナを調整する。
受信状態が良好になるほど、高音になります。

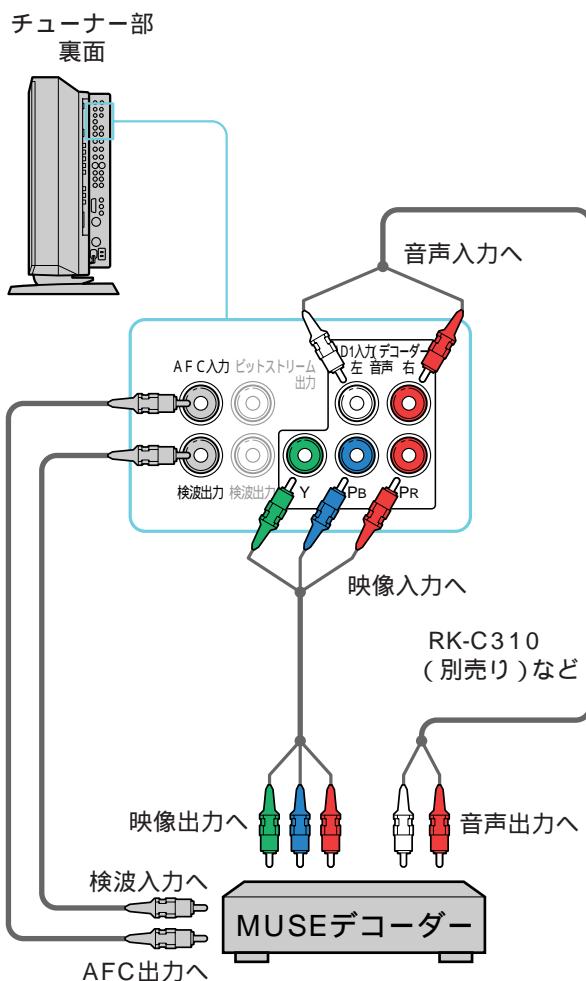
*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

BSデコーダーをつなぐ

ハイビジョン放送や有料の衛星放送を見るためには、デコーダー*をつなぐ必要があります。詳しくは、BSの放送会社にお問い合わせください。

お買い上げ時は、スクランブル*のかかった放送を受信すると、接続したデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。

MUSEデコーダー*(ハイビジョン)をつなぐ

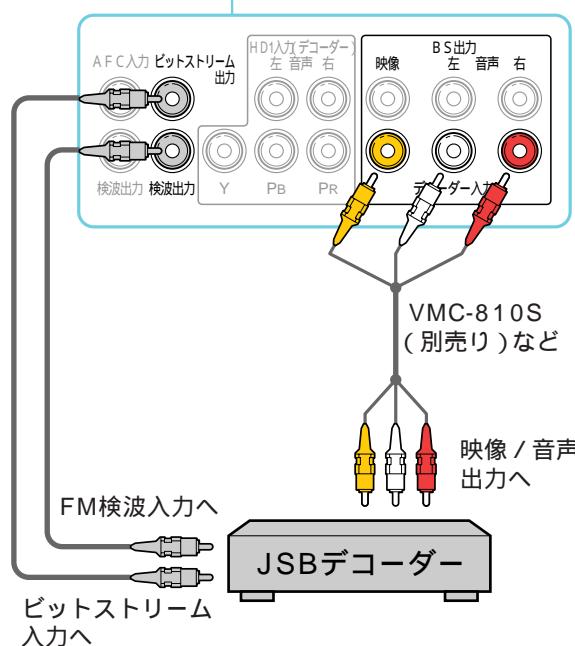
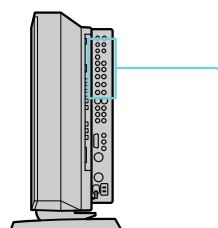


ご注意

ハイビジョン映像は、ブラウン管方式とは異なり、偶数奇数フィールドを同一走査線に表示する方法を採用しています。

J SBデコーダー (WOWOW/St.GIGA)を つなぐ

チューナー部
裏面



デコーダーのスイッチの設定

BSデコーダーの「検波 / 映像」切り替えスイッチを「検波*」にしてください。

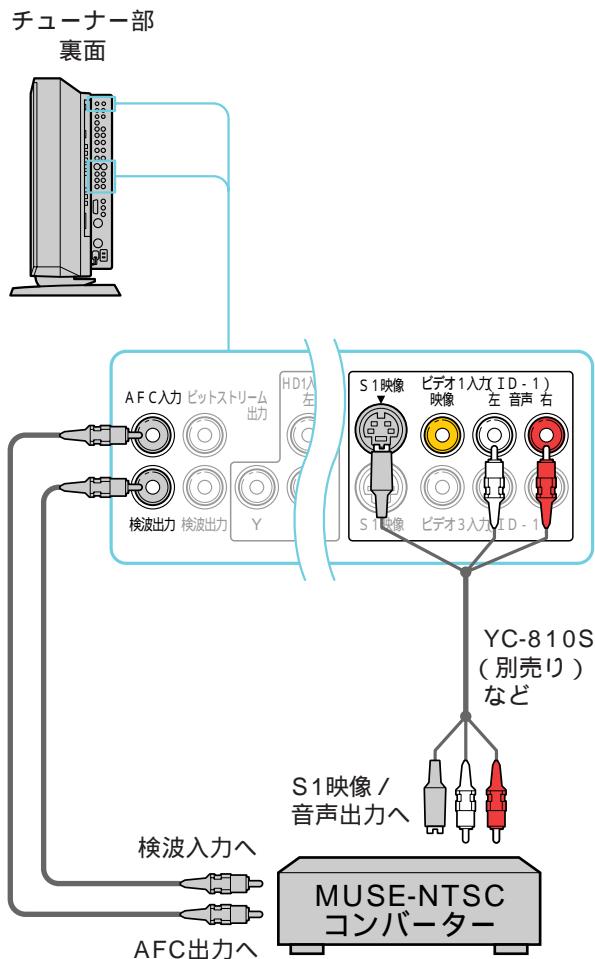
独立音声放送用デコーダーを接続する場合
デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

ご注意

BSデコーダーは必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

MUSE-NTSCコンバーター* (ハイビジョン)をつなぐ



ハイビジョン放送を見るときはハイビジョンのチャンネルにしてから「ビデオ1」または「ビデオ2」「ビデオ3」に切り換えてください。

デコーダー入力端子が空いている場合

ビデオ入力ではなくデコーダー入力端子に接続し、メニューの「デコーダー入力切換」で「BS9」の設定を「BSデコーダー」にしておけば、BS9チャンネルを選ぶだけで見ることができます。この場合、スクリンブルのかかった放送(1996年11月現在、BS5チャンネル)は「デコーダー入力切換」を「切」にしてください。[☞]46ページ

*のついた用語は用語集をご覧ください。[☞]63ページ

デコーダーを設定する

BS(ハイビジョン放送を含む)のチャンネルはお買い上げ時の設定は「オート」になっています。JSBデコーダーやMUSEデコーダーなどを接続した場合は、チャンネルごとに使うデコーダーを設定してください。

モニター部でのみ操作できます。

1 BSのチャンネルにする。

2 コントロールボタンを押す。
操作できるボタンが点灯します。



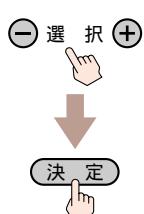
3 メニューボタンを押す。
メニュー操作ボタンが点灯します。



4 設定ボタンを押す。

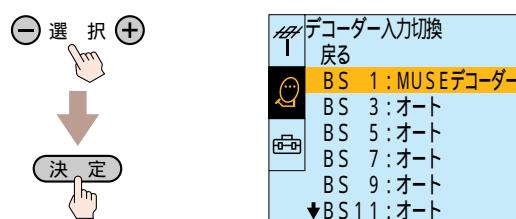


5 選択 + / - ボタンを押して (BS設定) を選び、決定ボタンを押す。
BSのときのみ選択できます。



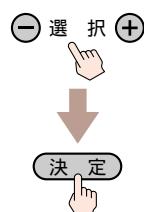
BSデコーダーをつなぐ(つづき)

- 6 選択 + / - ボタンを押して「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。



- 7 選択 + / - ボタンを押してBSチャネルを選び、決定ボタンを押す。

- 8 選択 + / - ボタンを押して設定を選び、決定ボタンを押す。



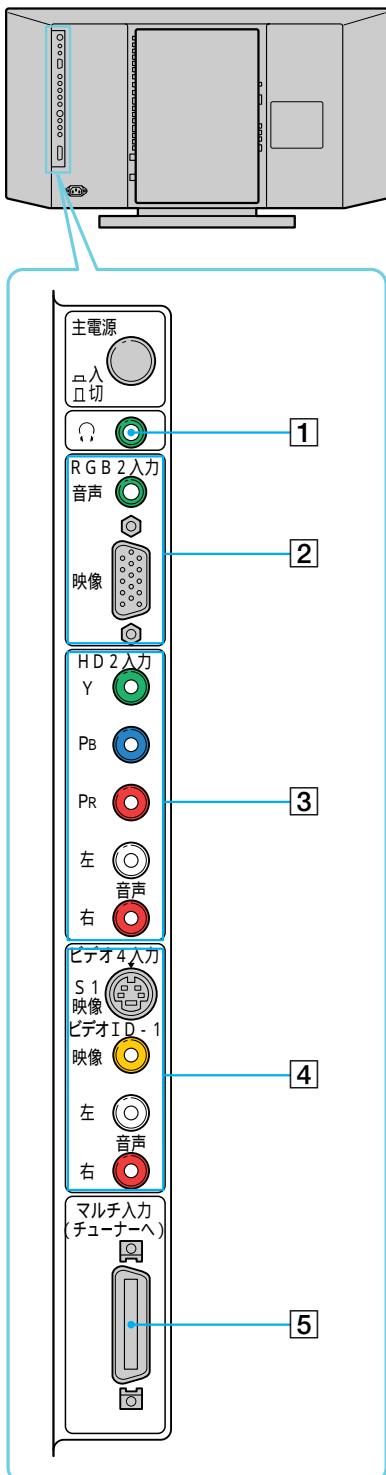
設定	内容
切	受信した映像・音声をそのまま映す
オート	BSのスクランブルとMUSE信号を自動判別
BSデコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す
MUSEデコーダー	HD1入力端子からの映像・音声を映す

- 9 設定ボタンを押してメニューを消す。

BS録画固定されているときは
デコーダー入力を切り換えることはできません。

接続端子について

モニター部の端子



☞のページに詳しい説明があります。

- ① ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

- ② RGB2入力(映像/音声)端子**☞54ページ
パソコンのRGB出力端子に接続します。「パソコンをつなぐ」☞53ページを見て、信号の種類を確認してください。

- ③ HD2入力端子**☞55ページ
映像入力端子...Y, Pb, Prで入力します。ハイビジョン(ベースバンド)機器の映像出力端子とつなぎます。
音声入力端子...ハイビジョン(ベースバンド)機器の音声出力端子とつなぎます。

- ④ ビデオ4入力(ビデオID-1* × S1映像* / 映像/音声)端子**☞12、55ページ
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。その機器からの映像・音声を映すことができます。

ご注意

この端子につないだ機器の映像や音声は、チューナー部のビデオ出力端子から出力されません。

- ⑤ マルチ入力端子**☞30、31ページ
チューナー部のマルチ出力端子とつなぎます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

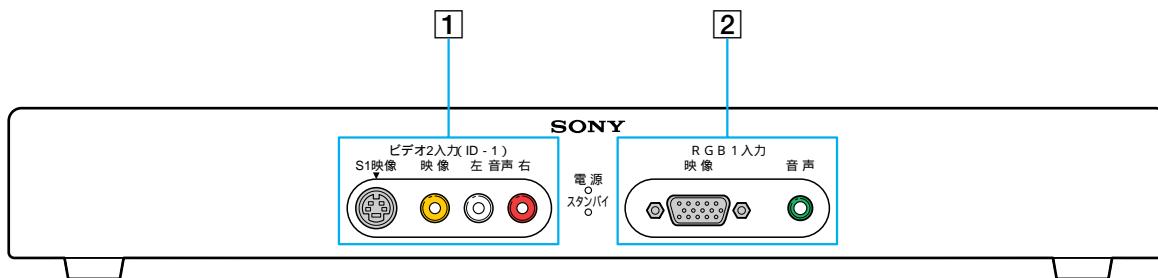
準備編

つづく

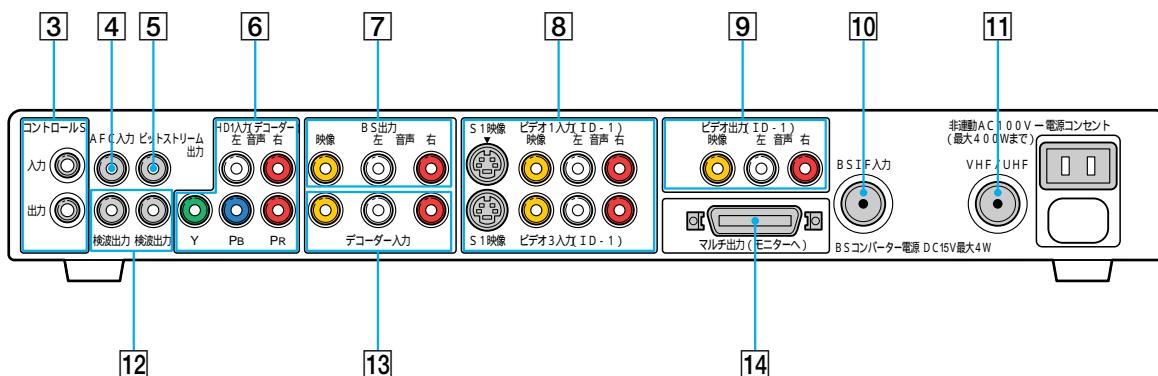
接続端子について(つづき)

チューナー部の端子

前面



裏面



☞のページに詳しい説明があります。

[1]ビデオ2入力(ID-1^{*}) (S1映像^{*} / 映像 / 音声)
端子☞12ページ
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

[2]RGB1入力(映像 / 音声)端子☞54ページ
パソコンのRGB出力端子に接続します。「パソコンをつなぐ」☞53ページを見て、信号の種類を確認してください。

[3]コントロールS端子
入力端子...他の機器のコントロールS出力端子とつなぐことにより、他の機器から本機を操作できます。
出力端子...他の機器のコントロールS入力端子とつなぐことにより、本機にリモコンを向けて他の機器を操作できます。

[4]AFC入力端子☞44、45ページ
MUSEデコーダーやMUSE-NTSCコンバーターなどハイビジョン機器のAFC出力端子とつなぎます。

[5]ビットストリーム^{*}出力端子☞44ページ
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。また、その他の新放送システムに対応するために用意されています。

[6]HD1入力(デコーダー)端子☞44、52ページ
映像入力端子...Y、P_B、P_Rで入力します。ハイビジョン(ベースバンド)機器の映像出力端子とつなぎます。
音声入力端子...ハイビジョン(ベースバンド)機器の音声出力端子とつなぎます。

[7]BS出力(映像 / 音声)端子☞51ページ
ビデオデッキなどをつなぎます。受信しているBSの信号が常に出力されています。また、デコーダーが接続されているときは、スクランブル^{*}を解除した信号が出力されています。

[8]ビデオ1、3入力(ID-1^{*}) (S1映像^{*} / 映像 / 音声)端子☞50、51ページ
ビデオデッキやマルチディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。
つないだ機器からの映像・音声を映すことができます。

[9]ビデオ出力(ID-1^{*}) (映像 / 音声)端子☞51ページ
ビデオデッキをつなぎます。映像や音声を記録することができます。
モニター部に映っている映像 / 音声の信号を出力します。

ご注意

次の端子につないだ機器の信号は、ビデオ出力端子から出力されないため、本機につないだビデオデッキに録画できません。

- ・ HD1、2入力端子
- ・ RGB1、2入力端子
- ・ ビデオ4入力端子

[10]BS IF入力端子☞40ページ

BSアンテナからのケーブルをつなぎます。(これ以外のものはつながないでください。)この端子から、BSコンバーター用電源(DC15V)を供給することができます。

[11]VHF / UHFアンテナ端子☞32ページ
VHF / UHFアンテナ、またはケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

[12]検波^{*}出力端子☞44ページ
BSデコーダーのFM検波入力端子やMUSEデコーダーの検波入力端子とつなぎます。

[13]デコーダー入力(映像 / 音声)端子☞44ページ
BSデコーダーの映像 / 音声出力端子とつなぎます。

[14]マルチ出力端子☞30、31ページ
モニター部のマルチ入力端子とつなぎます。
チューナー部に入力された信号が、モニター部に送られます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

ビデオデッキをつなぐ

ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」(☞26ページ)およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

ご注意

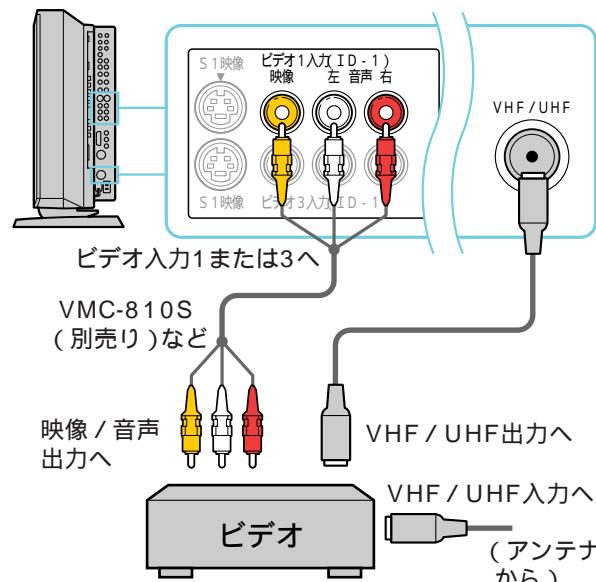
次の端子につないだ機器の信号は、ビデオ出力端子から出力されないため、本機につないだビデオデッキに録画できません。

- ・HD1、2入力端子
- ・RGB1、2入力端子
- ・ビデオ4入力端子

基本の接続

S映像端子のないビデオデッキ

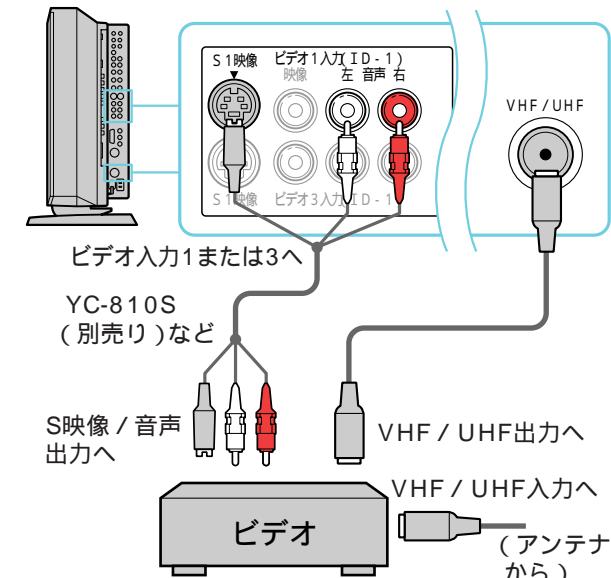
チューナー部裏面



*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

S映像端子付きビデオデッキ

チューナー部裏面



S1映像*端子と映像端子の使い分けかた

接続する機器によって、S1映像端子どうしの接続がよいものと、映像端子どうしの方がよいものがあります。下表を参考にして、よりよい画像でお楽しみください。

接続する機器	おすすめする端子
テレビチューナー BSチューナー / CSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー ¹⁾	映像
ビデオデッキ ²⁾ ビデオカメラの再生	S1映像
ビデオカメラのカメラスルー	S1映像
MUSE-NTSCコンバーター ³⁾	S1映像
ゲーム機	S1映像

¹⁾ 三次元Y/C分離回路^{*}搭載のレーザーディスクプレーヤーの場合は、接続の違いによる画質の差はほとんど生じません。再生モードにはデジタルを使わず、ノーマルで再生してください。

²⁾ TBC(タイムベースコレクター)内蔵のビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も原則としてS1映像端子をおすすめします。

³⁾ MUSE-NTSCコンバーター内蔵BSチューナーの場合は、MUSE放送をご覧になるときはS1映像端子、そのほかのBS放送をご覧になるときは映像端子をおすすめします。

・ S映像端子のない機器の場合は、映像端子をお使いください。

S1映像* / 映像の切り換え

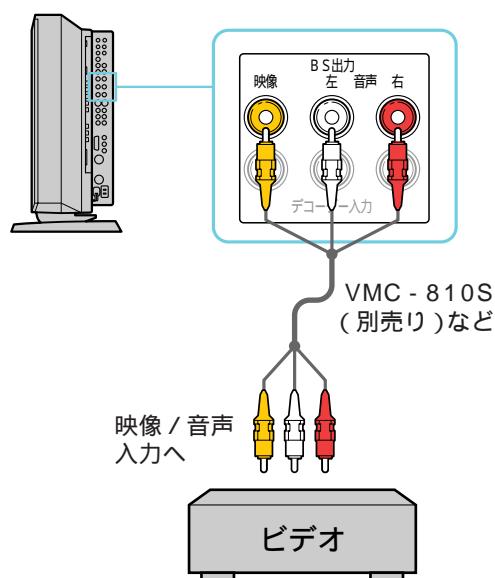
S1映像端子と映像端子を同時につないだときは、どちらの端子につないだ機器の画像を見るかを、下の手順に従って選んでください。

- 1 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
- 2 メニューボタンを押してメニューを出し、 (各種切換) を選び決定ボタンを押す。
- 3 「S映像」を選んで決定ボタンを押す。
- 4 S1映像端子につないだ機器の画像を見るときは、「入」にして決定ボタンを押す。
映像端子につないだ機器の画像を見るときは、「切」にして決定ボタンを押す。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

衛星放送を録画するための接続

本機内蔵のBSチューナーを使ってBSを録画する場合は、以下のようにつないでください。

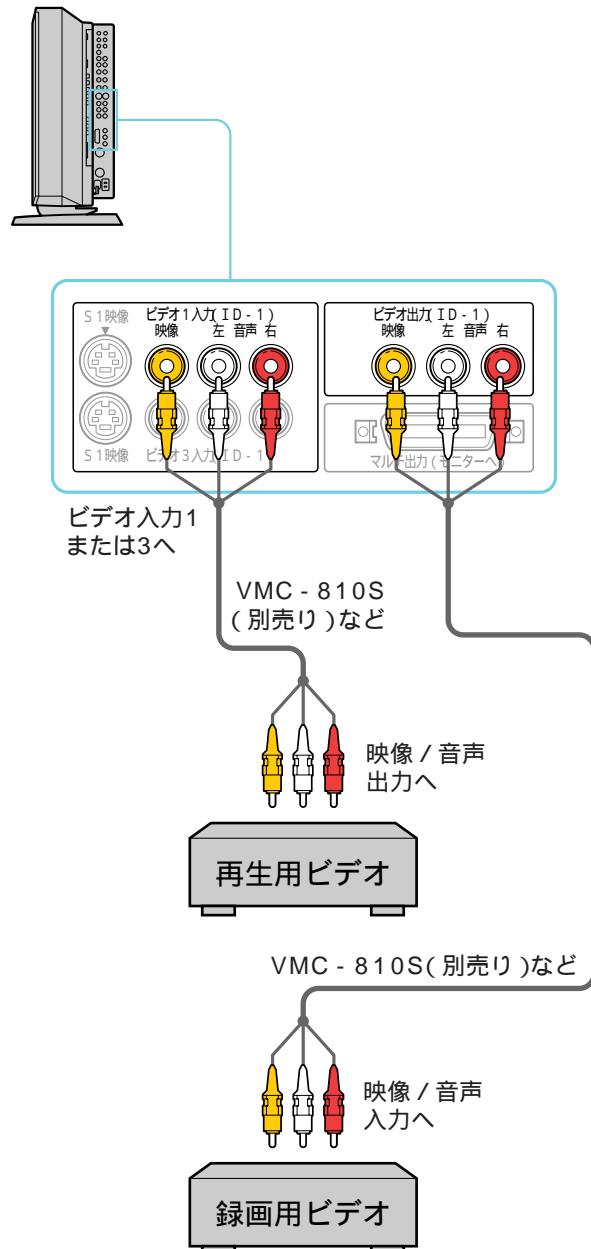
チューナー部裏面



ハイビジョン放送を録画する場合は「MUSE-NTSCコンバーター*をつなぐ」を行ってください。[☞45ページ](#)

編集するときの接続

チューナー部裏面



ご注意

- ・ 1台のビデオ機器に、本機からの出力と入力の両方の端子を同時に接続しないでください。画像が乱れることがあります。
- ・ モニター部のビデオ4入力端子に接続しないでください。チューナー部のビデオ出力端子から、信号が出ないためです。

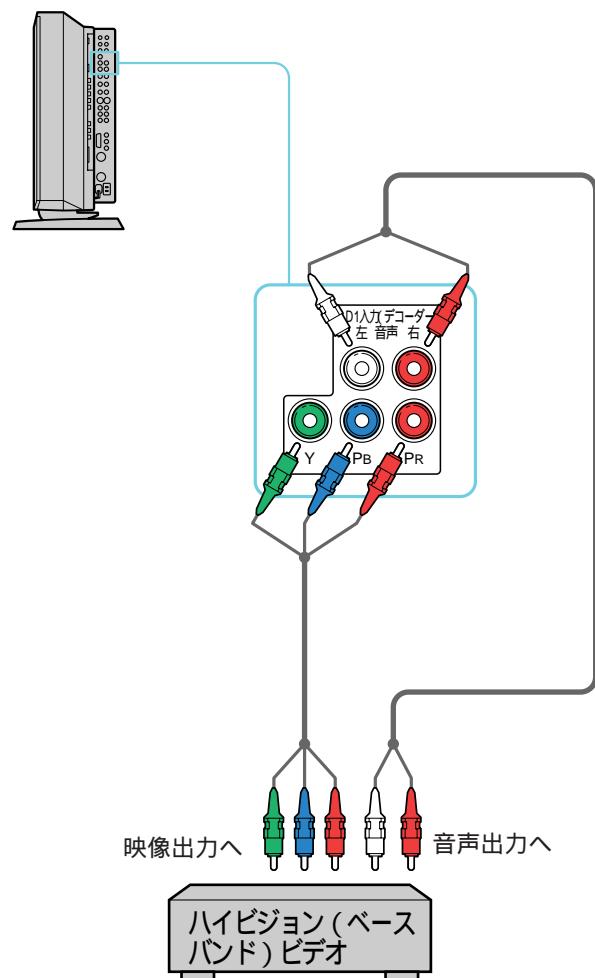
*のついた用語は用語集をご覧ください。[☞63ページ](#)

ハイビジョンのビデオなどをつなぐ

ハイビジョンのビデオやレーザーディスクをつなぐことができます。

ハイビジョン(ベースバンド)機器をつなぐ

チューナー部裏面



ご注意

ハイビジョン映像は、ブラウン管方式とは異なり、偶数奇数フィールドを同一走査線に表示する方法を採用しています。

パソコンをつなぐ

テレビにパソコンをつないでCD-ROMなどの映像や音声を楽しむことができます。

接続できるパソコンの信号

パソコンは種類によって信号形式が異なります。

下記の信号のパソコンであることを確認の上接続してください。

対応信号	表示 (ドット×ライン)	水平周波数	垂直周波数
VGA ¹⁾ グラフィックス	640×480	31.5KHz	60.0Hz
Macintosh ²⁾ 13"カラー	640×480	35.0KHz	66.7Hz

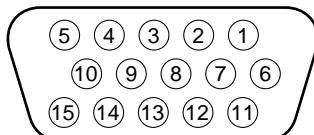
¹⁾ VGAは米国IBM社の登録商標です。

²⁾ Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

ご注意

- 上記の対応信号以外のパソコンを接続すると、故障の原因となるおそれがありますので、接続しないでください。
- パソコンの映像は、画質モードを「AVメモリー」の「標準」値にしてご覧になることをおすすめします。
- VGA信号であっても、パソコンの機種によっては、本機に入力できないものがあります。

RGB1、2入力端子(3列15ピンDサブコネクター)のピン配置



1	2	3	4	5
R	G	B	GND	GND
6	7	8	9	10
GND	GND	GND	ミ	GND
11	12	13	14	15
GND	ミ	H SYNC	V SYNC	ミ

GND : アース R : 赤入力 G : 緑入力 B : 青入力

- : 未使用 H SYNC : 水平同期入力

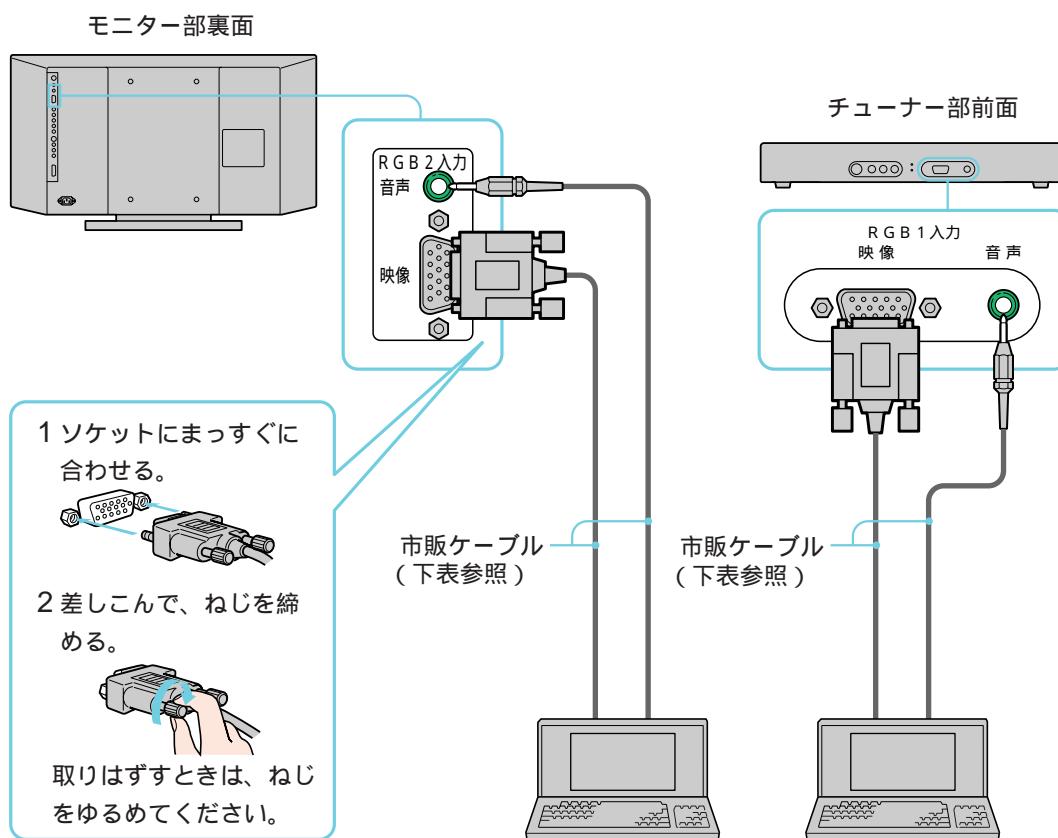
V SYNC : 垂直同期入力

パソコンをつなぐ(つづき)

パソコンをつなぐ

⚠ 注意

パソコンなどを接続した場合、コードに足を引っ掛けないように充分ご注意ください。本機やパソコンが落下したり、端子部を破損したりする恐れがあります。



接続ケーブル

パソコンによって接続のしかたが異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンの種類	使用するケーブル
DOS/Vコンピューター*	市販ケーブル(3列15ピンDサブ / 3列15ピンDサブ)
アップルコンピューター	市販ケーブル(3列15ピンDサブ / 3列15ピンDサブ) + 市販Macintosh用変換アダプター13インチモードのもの

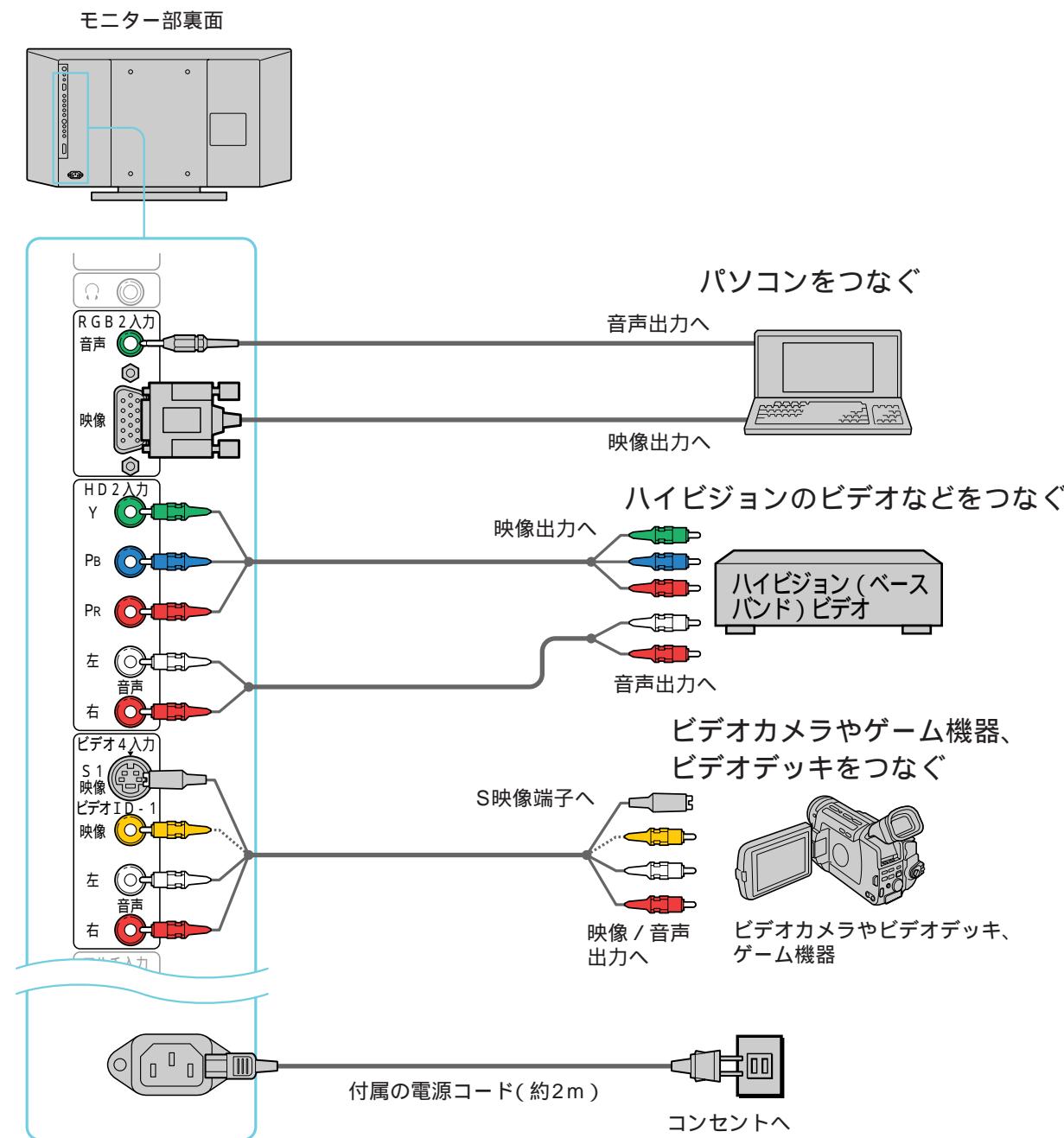
*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

モニターとして使うときの接続と設定

チューナー部を外して、モニター部のみでお

使いいただけます。

モニター部のみで使うときは、「モニター
モード」に設定してください。[☞56ページ](#)

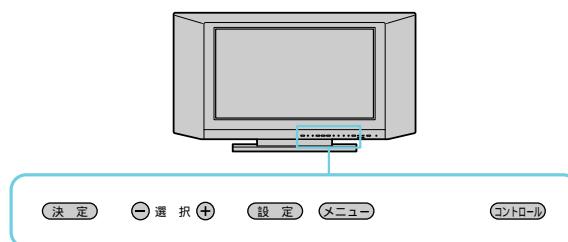


準備編

つづく
➡

モニターとして使うときの接続と設定(つづき)

モニターモードにする

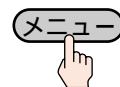


モニター部でのみ操作できます。

- 1 コントロールボタンを押す。
操作できるボタンが点灯します。



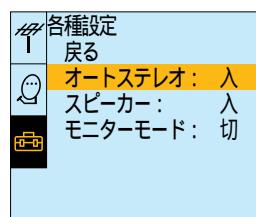
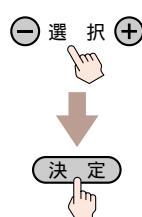
- 2 メニューボタンを押す。
メニュー操作ボタンが点灯します。



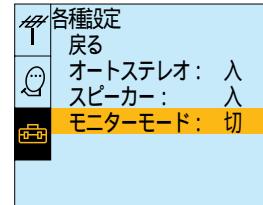
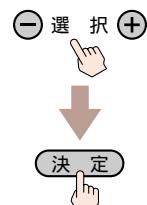
- 3 設定ボタンを押す。



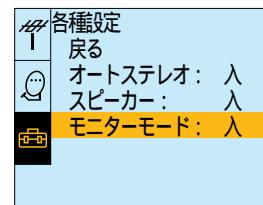
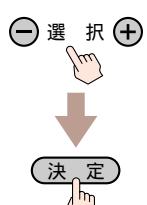
- 4 選択 + / - ボタンを押して  (各種設定) を選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択 + / - ボタンを押して「モニターモード」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 選択 + / - ボタンを押して、「入」にして決定ボタンを押す。



- 7 設定ボタンを押してメニューを消す。

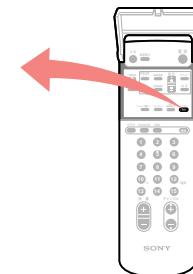
ご注意

モニターモードを「入」に設定したときは、「テレビ設定」と「BS設定」、「オートステレオ」は設定できません。

故障かな？と思ったら

下記の項目のほかになんらかの異常がある場合、リモコンの元どおりボタンを押してみてください。右記以外の項目は、お買い上げ時の状態に戻ります。

- ・ チャンネル設定
- ・ 時計
- ・ BS設定
- ・ モニターモード設定



テレビが映らない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源コードがはずれていませんか？ ■ モニター部裏面の電源スイッチは入っていますか？ ■ 信号は入力されていますか？ <p>信号が入力されていない状態で10分たつと、自動的にスタンバイ状態になります。</p>
画像は出るが、音が出ない	 <ul style="list-style-type: none"> ■ 音量が下がりきっていませんか？ ■ 画面に「消音」の表示が出ていますか？消音ボタンを押してください。 ☞5ページ ■ メニューの  (各種設定) で「スピーカー」が「切」になっていませんか？ ■ ヘッドホンをつないでいませんか？
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ■ 画 / 音モードボタンを押してください。 ☞16ページ ■ 画質調整ボタンを押して調整してください。 ☞17ページ
画像が二重、三重になる	 <ul style="list-style-type: none"> ■ アンテナ線がはずれかかっていないませんか？ ☞32ページ ■ 山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 ■ アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ■ 突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく	 <ul style="list-style-type: none"> ■ アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ■ アンテナの寿命ではありませんか？通常3～5年、海辺では1～2年です。 ■ アンテナ線がはずれかかっていないませんか？ ☞32ページ
斑点や点模様が走る	 <ul style="list-style-type: none"> ■ ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。 アンテナはなるべく道路から離してください。
画面に焼き付きや残像があらわれる	<ul style="list-style-type: none"> ■ 液晶の特性によるもので故障ではありません。時間の経過とともに、元に戻ります。
特定のチャンネルだけが映らない	<ul style="list-style-type: none"> ■ チャンネルを合わせ直してみてください。 ☞34ページ
雑音が多い	<ul style="list-style-type: none"> ■ フィーダー線を使用していませんか？ ☞32ページ ■ メニューの  (各種設定) で「オートステレオ」を「切」にしてください。 ☞21ページ
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	<ul style="list-style-type: none"> ■ ダイレクト選局の場合 ☞37ページ ■ ダイレクト / 10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？ ■ 10キー選局の場合 ☞37ページ ■ ダイレクト / 10キー選局が「10キー」になっていますか？ ■ 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ ■ 最後に続けて⑪/ 選局を押しましたか？(スタンバイ / スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑪/ 選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。) その他 ■ リモコンの電池が消耗していませんか？

その他



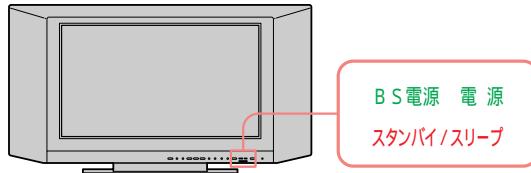
故障かな？と思ったら(つづき)

キャビネットから「ピシッ」というきし み音が出る	■周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ること があります。故障ではありません。
パソコンの映像が乱れる	■パソコンの信号は、本機の対応信号ですか？☞53ページ
パソコンの映像が欠ける	■メニューの  (画面モード)で、「画面位置上下」や「画面位置左右」を調整して ください。☞13ページ
パソコンの映像の色がおかしい・にじむ	■メニューの  (画面モード)で、「画面位相調整」を調整して ください。☞13 ページ ■メニューの  (画質調整)で、「ピクチャー」や「明るさ」を調整して ください。☞17ページ
パソコンの映像が映らない	■正しく接続されていますか？☞54ページ ■ケーブルまたはアダプターは正しいものを使っていますか？☞54ページ ■3列15ピンDサブコネクターのピンが曲がっていませんか？☞54ページ
BS(衛星放送)が映らない/乱れている	BSアンテナを直接つないでいる場合 ■  (BS設定)で「BS電源」が「オート」または「連動」になっていますか？ ☞41ページ ■BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？ ■アンテナの大きさは適切ですか？ ■アンテナの前方に障害物はありませんか？ ■アンテナの方向・角度を調整しましたか？☞42ページ BSアンテナに分配器を使っている場合 ■コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？ マンションなどの共聴システムの場合 ■  (BS設定)で「BS電源」が「オート」または「切」になっていますか？ ☞41ページ ■VHF/UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っています か？☞40ページ ■ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ その他 ■放送時間を確認してください。 ■雨や雪が降ると悪くなることがあります。 ■BS専用のケーブルを使っていますか？☞40ページ ■アンテナコネクター(バルーン)を使っていますか？ ■  (BS設定)で「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？☞45ページ
BS(衛星放送)の画像は出るが音が出ない	■スクランブル*放送ではありませんか？
BS(衛星放送)のチャンネルが切り換わ らない	■BS録画固定にしていませんか？☞19ページ
ハイビジョンが映らない	■MUSEデコーダーの接続は正しいですか？☞44ページ
「コンバーター電源を確認してください」 という文字が出る	■チューナー部裏面のBS IF入力につないだアンテナ線がショートしています。電 源を切って、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ビデオを再生したとき画像が出ない	■メニューの  (各種切換)の「S映像」を、つないだ端子に合わせて切り換えて ください。☞51ページ
つないだ機器の画像、音が出ない	■接続コードがはずれていませんか？ ■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。
「MFT ON/OFF」という文字が出たら	■サービス点検用の機能です。何の操作もしなければ約3秒で消えます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞63ページ

ランプの点滅

モニター部のランプの点滅によって、動作状態を確認することができます。



ランプ	動作状態	
下図の表示が点灯または点滅します。		
BS電源 電源	電源入り	通常に電源が入った状態です。 BSチューナーの電源も入っています。
スタンバイ / スリープ	スタンバイ	リモコンで電源を切った状態です。リモコンの電源、チャンネル数字、チャンネル+/-ボタンまたはモニター部前面の電源スイッチを押すと電源が入ります。
BS電源 電源 スタンバイ / スリープ	スリープ	スリープを「入」にした状態です。 約1時間後に電源が切れてスタンバイになります。
BS電源 スタンバイ / スリープ	BS録画固定中	BS録画固定にしてリモコンで電源を切った状態です。約48時間後にBSチューナーの電源が切れます。
異常が発生した場合の表示	警告表示	原因と対策
点滅 BS電源 電源	コンバーター電源を確認してください	電源が入っているときにBSコンバーター電源が異常になった状態です。電源スイッチを切ってBSアンテナを確認してください。 ☞40ページ
点滅 BS電源 スタンバイ / スリープ		BS録画固定中にBSコンバーター電源が異常になった状態です。電源スイッチを切ってBSアンテナを確認してください。 ☞40ページ
電源 -スタンバイ / スリープ 点滅	新しいバックライトに交換してください	バックライトが切れています。ソニーサービス窓口に連絡して、新しいバックライトと交換してください。
点滅 BS電源 電源 スタンバイ / スリープ 点滅	温度保護回路が働いたため まもなく電源が切れます	モニター部内部の温度が異常に高くなかったか冷却用のファンが停止しています。モニター部の後ろの通気孔がふさがっていないかを確認し、しばらくしてから電源を入れ直してください。

必要な処置を行っても正常動作に戻らないときは、故障と思われます。

お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。☞裏表紙

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

→「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

→お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

→保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

→修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：PZ-2500

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

This television is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.

廃棄されるときは

長い間、ご愛用いただき、ありがとうございます。本機を廃棄処分されるときは、ソニーのお客様ご相談センターへご一報ください。

□ 東京 (03) 5448-3311
名古屋 (052) 232-2611
大阪 (06) 539-5111

お手入れ

外装の汚れは

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうがあるので、使用しないでください。

スクリーン面の汚れは

- スクリーンの汚れは、必ず付属のクリーニングクロスで拭きとってください。スクリーン表面に施した特殊コーティングを傷めことがあるため、付属のクリーニングクロス以外は使用しないでください。
- スクリーン面に、アルコールやベンジン、シンナーなどをかけないでください。スクリーンを傷めことがあります。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスに水または水で薄めた中性洗剤溶液を少し含ませて、拭きとってください。
- クリーニングクロスは洗濯して再使用できます。

内部の掃除について

- 内部にほこりがたまると、画面が暗くなったり、画質が劣化することがあります。このときは、内部の掃除が必要なため、お近くのソニーサービスステーションなどにご依頼ください。

主な仕様

システム

受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル UHF 13~62チャンネル CATV C13~C35 BS1、3、5、7、9、11、13、15 透過型TN液晶パネル
表示方式	プラズマアドレス型アクティブマトリックス
画面の大きさ	25型 対角634mm
有効画面寸法	縦307mm×横546mm
画素数	854RGBト里オ×480ライン
使用スピーカー	リボンツイーター 85.4mm×45mm角型×2 フルレンジスピーカー Υ70mm×2 ウーファー Υ70mm×2

モニター部

入出力端子

S1映像	4ピンミニDIN Y: 1Vp-p、75°、不平衡、同期負 C: 0.286Vp-p(バースト信号) 75
映像	ビンジャック、1Vp-p、 75°、不平衡、同期負
音声	ビンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47k 以上
映像	ビンジャック Y: 1Vp-p(3値同期付) P _G P _R : ±350mVp-p 3値同期: ±300mVp-p 入力インピーダンス 75
RGB2入力端子	音声: ビンジャック2チャンネル 500mVrms、インピーダンス 47k 以上 映像: D-SUB、3列、15ピン RGB映像信号...アナログ0.7Vp-p、 75° 水平同期信号...TTLレベル、正負極性 垂直同期信号...TTLレベル、正負極性
ヘッドホン端子	音声: ステレオミニジャック 500mVrms、インピーダンス 47k 以上 ステレオミニジャック 負荷インピーダンス 16 以上
マルチ入力端子	D-SUB、36ピン(ハーフピッチ)

電源部・その他

消費電力	225W(リモコン待機時1.8W)
最大外形寸法	840×481×242mm (幅×高さ×奥行き、スタンドを含む)
質量	チューナー部をモニター部裏面に取り付けて も変わりません。 約19.8Kg
電源	AC100V、50/60Hz



その他

主な仕様(つづき)

チューナー部

入出力端子

アンテナ端子	VHF/UHF、BS IF 75 F型コネクター (コンバーター用電源出力、DC15V、最大4W)
ビデオ1、2、3入力端子	S1映像：4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75 、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p(バースト信号) 75 映像：ピンジャック、1Vp-p、 75 、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47k 以上
ビデオ出力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、 75 、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 5k 以下
BS出力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、 75 、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、標準出力レ ベル 250mVrms(FS-18dB時)、 インピーダンス 5k 以下
検波出力端子	ピンジャック×2、0.67Vp-p、75
ピットストリーム出力端子	ピンジャック、0.5Vp-p、75
デコーダー入力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、 75 、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力 250mVrms、インピーダンス47k 以上
AFC入力端子	ピンジャック、75
HD1入力端子	映像：ピンジャック Y：1Vp-p(3值同期付) $P_B P_R : \pm 350 \text{mVp-p}$ 3値同期： $\pm 300 \text{mVp-p}$ 入力インピーダンス 75 音声：ピンジャック2チャンネル 500mVrms 入力インピーダンス 47k 以上
RGB1入力端子	映像：D-SUB、3列、15ピン RGB映像信号...アナログ0.7Vp-p、 75 水平同期信号...TTLレベル、正負極性 垂直同期信号...TTLレベル、正負極性 音声：ステレオミニジャック 500mVrms、インピーダンス 47k 以上
コントロールS入出力端子	ミニジャック
マルチ出力端子	D-SUB、36ピン(ハーフピッチ)

電源部・その他

消費電力	13W(リモコン待機時1.5W)
最大外形寸法	395×57.5×280mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約3.9Kg
電源	AC100V、50/60Hz

付属品

リモートコマンダー RM-J206(1)
乾電池 単3型(1)
テレビラック固定ベルト(1)
36ピンマルチケーブル(約0.2m) X 1)
36ピンマルチケーブル(約2m) X 1)
電源コード(約0.2m) X 1)
電源コード(約2m) X 1)
スピーカーネット(2組)
アンテナ接続ケーブル(1)
クリーニングクロス(1)
取扱説明書(1)
保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)
安全のために(1)

別売りアクセサリー

テレビスタンド	SU-P25R SU-P25D
ステレオヘッドホン	MDR-AV55 MDR-IF410K
BSアンテナなど 接続ケーブルなど	

- ・このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

ID-1方式(ビデオ ID-1システム)

ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-1方式に対応しています。

ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ入力端子につなぐと、ID-1方式の映像となります。ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けています。

S-1方式(S1映像)

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の縦横比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS1映像入力端子にS映像ケーブルを使ってつなぐと、S-1方式の映像となります。

ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

検波

衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

サラウンド

音声に臨場感を出す機能です。劇場やコンサートホールでは、直接聞こえてくる音(直接音)と、その音が壁などで反射して少し遅れて届く音(間接音)が混ざり合って聞こえます。サラウンドはこれを応用したもので、わざわざ遅らせた音声信号を混ぜ合わせることで臨場感を出します。

三次元Y/C分離回路

本機内部にある回路で、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて(暗号化して)送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器(デコーダーなど)が必要です。

チューナー

電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。本機のチューナー部はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デコーダー

スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

独立音声放送

BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送が送られている場合があります。これが独立音声放送です。

DOS/Vコンピューター

VGAのビデオボードを備えたIBM PC系のパソコン。日本語表示をできるようにしたDisk Operating Systemを採用したパソコンの名称です。

ハイビジョン実用化試験放送

1996年11月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。MUSE方式ハイビジョン放送を見るためには、MUSEデコーダーまたは、MUSE-NTSCコンバーターが必要です。

ピットストリーム

衛星放送の電波で送られてくるデジタル信号です。音声とデータがデジタル化されています。

VGA

VGAは米国IBM社の登録商標です。同IBM社で採用されたグラフィックス機構でアナログRGBと640×480ドットの解像度を持ち、最大256色を同時発色できます。DOS/Vを利用するには、VGAのビデオ回路が必要となります。

Macintosh

Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

MUSE

ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

MUSE-NTSC コンバーター

MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式(NTSC)に変換するための機器です。

MUSEデコーダー

MUSE方式で圧縮された信号を、ハイビジョン方式の走査線1125本で再現するためのデコーダーです。

ワイドクリアビジョン放送

ワイドクリアビジョン放送は現行テレビジョン放送とも両立性を保ちつつ画面のワイド化と高画質化などが図られた新しいテレビジョン放送です。

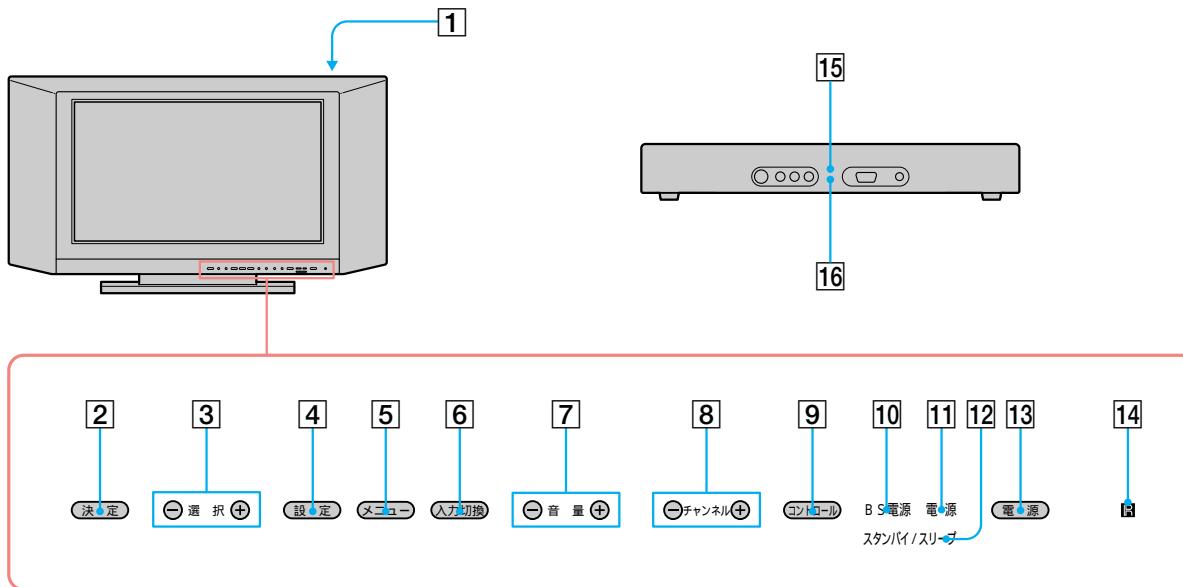
また、本機は水平側の画質向上回路を内蔵しており、高精細な映像をお楽しみいただけます。

本取扱説明書に記載されている社名および商品名は各社の登録商標、商標または商品です。

各部のなまえ / Identification of controls

モニター部とチューナー部/Monitor and tuner

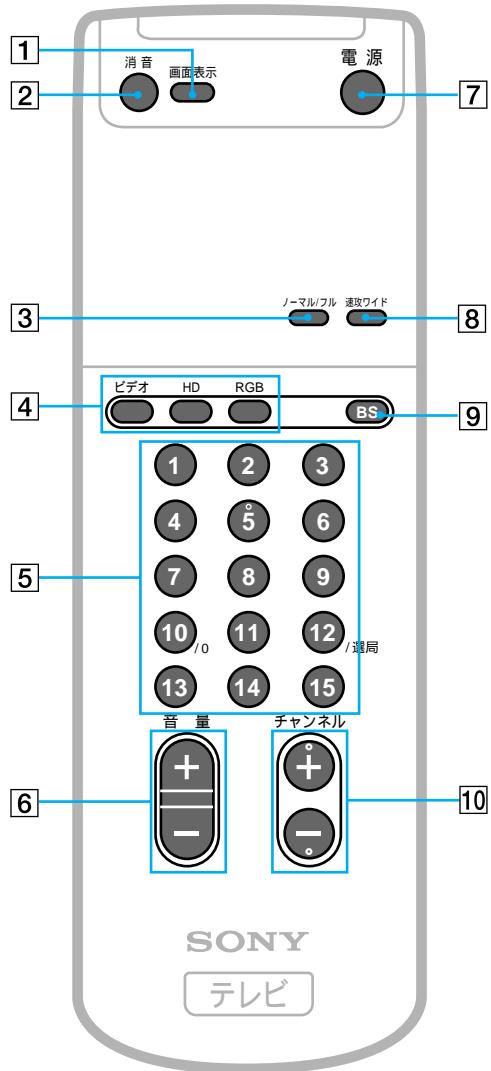
端子については、47～49ページをご覧ください。



モニター部の前面には、そのとき操作できるボタンが点灯します。操作するときは、まずコントロールボタンを押してください。点灯しているボタンを触るだけで操作できます。

- ①主電源スイッチ(裏面)☞4ページ
- ②決定ボタン☞34ページ
- ③選択 + / - ボタン☞34ページ
- ④設定ボタン☞34ページ
- ⑤メニュー ボタン☞34ページ
- ⑥入力切換ボタン☞15ページ
- ⑦音量 + / - ボタン☞4ページ
- ⑧チャンネル + / - ボタン☞4ページ
- ⑨コントロールボタン☞34ページ
- ⑩BS電源ランプ☞20、59ページ
- ⑪電源ランプ☞59ページ
- ⑫スタンバイ / スリープランプ☞4、59ページ
- ⑬電源スイッチ
リモコンの電源ボタンと同じ働きをします。
- ⑭リモコン受光部
- ⑮電源ランプ
- ⑯スタンバイランプ

- ① Main power switch (Rear) page 4
- ② Enter button page 34
- ③ Select + / - buttons page 34
- ④ Preset button page 34
- ⑤ Menu button page 34
- ⑥ Input Select button page 15
- ⑦ Volume +/ - buttons page 4
- ⑧ Channel +/ - buttons page 4
- ⑨ Control button page 34
- ⑩ BS(Broadcast Satellite) Power indicator pages 20, 59
- ⑪ Power indicator page 59
- ⑫ Standby/Sleep indicator pages 4, 59
- ⑬ Power switch
Functions in the same way as the remote commander's power switch.
- ⑭ Remote control sensor
- ⑮ Power indicator
- ⑯ Standby indicator



リモコン / Remote Control

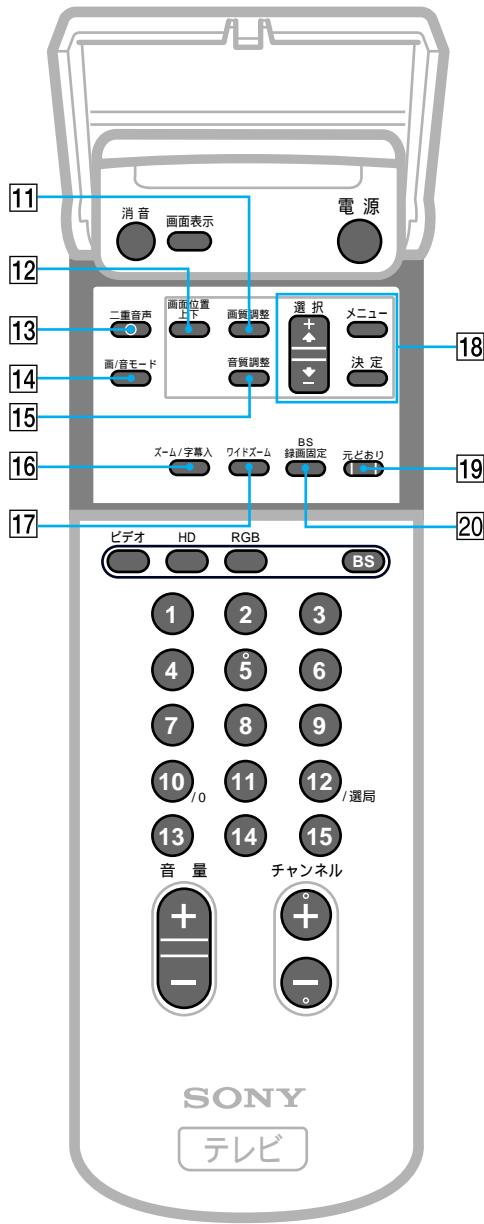
- [1] 画面表示ボタン [5ページ](#)
- [2] 消音ボタン [5ページ](#)
- [3] ノーマル / フルボタン [7ページ](#)
- [4] 入力切換ボタン [5、15ページ](#)
ビデオボタン
HDボタン
RGBボタン
- [5] チャンネル数字ボタン [4、14、19、37ページ](#)
- [6] 音量 + / - ボタン [4ページ](#)
- [7] 電源ボタン [5ページ](#)
- [8] 速攻ワイドボタン [7ページ](#)
- [9] BSボタン [14ページ](#)
- [10] チャンネル + / - ボタン [4ページ](#)

- [1] Display button page 5
- [2] Muting button page 5
- [3] Normal/Full button page 7
- [4] Input Select buttons pages 5, 15
Video button, HD button, RGB button
- [5] Channel Number buttons pages 4, 14, 19, 37
- [6] Volume +/ - buttons page 4
- [7] Power switch page 5
- [8] Quick Wide button page 7
- [9] BS (Broadcast Satellite) button page 14
- [10] Channel +/ - buttons page 4

その他

つづく

各部のなまえ / Identification of controls(つづき)



リモコン扉内 / Inside the panel

- 11 画質調整ボタン☞17ページ
- 12 画面位置上下ボタン☞11ページ
- 13 二重音声ボタン☞21ページ
- 14 画 / 音モードボタン☞16ページ
- 15 音質調整ボタン☞18ページ
- 16 ズーム / 字幕入ボタン☞7ページ
- 17 ワイドズームボタン☞7ページ
- 18 メニュー ボタン☞8ページ
- 選択 + / - ボタン☞8ページ
- 決定 ボタン☞8ページ
- 19 元どおり ボタン☞57ページ
- 20 BS録画固定 ボタン☞20ページ

- 11 Picture Adjust button page 17
- 12 Picture Position Up/Down button page 11
- 13 Audio Mode (Bilingual) button page 21
- 14 Picture/Sound Mode button page 16
- 15 Sound Adjust button page 18
- 16 Zoom/Caption button page 7
- 17 Wide zoom button page 7
- 18 Menu button page 8
- Select +/- buttons page 8
- Enter button page 8
- 19 Reset button page 57
- 20 BS recording button page 20

索引

あ行

- アンテナ
 - BSアンテナの接続 40
 - BSアンテナレベル 42
 - VHF/UHFアンテナの接続 32~33
 - V/Uミキサー 32~33
- 衛星放送 4、14
- S映像切り換え 51

か行

- ケーブルテレビ→CATV

さ行

- サラウンド 18
- CATV
 - チャンネル設定 35
 - 見る 35
- 時刻
 - 設定 22
 - 表示 23
- 字幕入 6~7
- 主音声 21
- 消音 5
- 消画 18
- ズーム 6~10
- スクランブル 44
- 接続

- ゲーム 12
- チューナー部とモニター部 30~31
- パソコン 54
- ハイビジョン関連機器 52
- ビデオ機器 50~51
- BSアンテナ 40
- BSデコーダー 44
- VHF/UHFアンテナ 32
- MUSE-NTSC
- コンバーター 45
- MUSEデコーダー 44
- 設定
- S映像切り換え 51
- 選局方法 37
- チャンネル 34~35

た行

- ダイレクト選局 37
- チャンネル
 - 合わせる(設定) 34~35
 - 合わせ直す(変更する) 35
 - 表示を書き換える 36
- 調整
 - 音質 16~18
 - 画質 16~18
- BSアンテナレベル 42
- ワイド画面 11
- 10キー選局 37~38
- 同軸ケーブル 32
- 独立音声放送 14

な行

- 二重音声 21
- ノーマル 7

は行

- ハイビジョン 44、52
- ハイビジョン関連機器の接続 52
- BS
 - 裏番組を録画する 19
 - BS録画固定予約 20
 - 見ながら録画する 19
 - 見る 4、14
 - 録画のための接続 51
- BSアンテナ
 - 接続 40
 - 調整 42
- BSデコーダー
 - 接続 44
- ビデオ
 - 接続 50~51
 - 見る 15
- VHF
 - チャンネル設定 34~36
 - 見る 4
- VHF/UHFアンテナ 32~33
- フィーダー線 32~33
- 副音声 21
- フル 6~7

ま行

- MUSE-NTSCコンバーター 45
- MUSEデコーダー 44
- 元どおり 57
- モニターモード設定 56

や行

- 有料衛星放送 14
- UHF
 - チャンネル設定 34~36
 - 見る 4

ら行

- リモコン
 - 電池を入れる 5
 - リモコン各部の
 - なまえと働き 65~66

わ行

- ワイドズーム 6~10

その他

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・変なにおいや音
がしたら
- ・内部に異物が
入ったら
- ・音は出るが画面
が映らないときは
- ・テレビを落とし
たり、キャビ
ネットを破損し
たときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコン
セントから抜く
- ③ お買い上げ店また
はソニーサービス
窓口に修理を依頼
する

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111